

BUFFALO

35010450 ver.02

2-01

C10-013

リンクシアター
Link Theater™

地上 / BS / 110 度 CS デジタル放送対応ビ
デオプレーヤー

LT-H90DTV

ユーザーズマニュアル

はじめに

接続・準備

デジタル放送

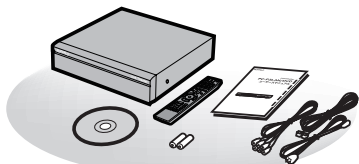
ファイル再生

付録

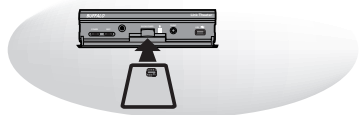
セットアップのながれ

LinkTheater LT-H90DTV

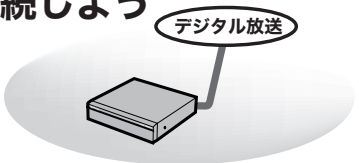
- 梱包物を確認しよう！
9ページ参照



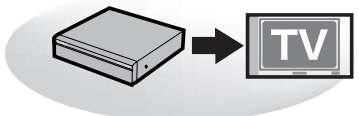
- B-CASカードをセットしよう！
18ページ参照



- 本製品をアンテナに接続しよう
19ページ参照



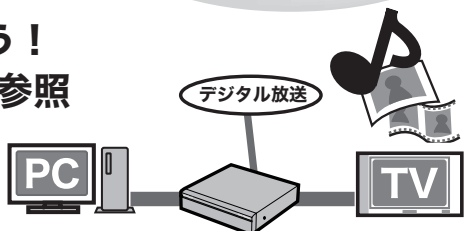
- 本製品をテレビに接続しよう！
20ページ参照



- 本製品をネットワーク(パソコン)に接続しよう！
22ページ参照



- 視聴/再生しよう！
28、42ページ参照



本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク **▲注意** に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク **▼次へ** に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

文中 [] で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。
- "AVCHD" 及び "AVCHD" ロゴ は、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- BUFFALO™ は、株式会社メルコホールディングスの商標です。LinkTheater™、LinkStation™、AirStation™、TeraStation™ は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・ 一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際しては、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください




お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。







パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味 △○●の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

 警告・注意を促す内容を示します。(例：  感電注意)
 してはいけない事項（禁止事項）を示します。(例：  分解禁止)
 しなければならない行為を示します。(例：  プラグをコンセントから抜く)

危険



禁止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- ・ 分解、改造しない。
- ・ 電極の (+) と (-) を針金等の金属で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- ・ 火の中に入れてたり、過熱したりしない。
- ・ 釘を刺したり、かなづちでたたいたり、踏みつけたりしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする危険があります。



禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。

電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

警告



禁止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- ・ 分解・改造・修理・充電しない。
- ・ 使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混在して使用しない。
- ・ 電極の (+) と (-) を間違えて挿入しない。
- ・ 消耗しきった電池を入れたままにしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをすることがあります。



禁止

電池内部の液が漏れたときは、液に触れないでください。

やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。



強制

電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。

指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。



強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。



分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

警告



禁止

AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。



強制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。



禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- ・ 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- ・ 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- ・ 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・ 極端に折り曲げないでください。
- ・ 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。



強制

電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。



強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。



強制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていない場合でも、本製品の故障の原因となります。



電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

警告



電源プラグ
を抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



電源プラグ
を抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。



強制

電源ケーブル（または AC アダプター）、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。

本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用を含む）、AC アダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

注意



強制

本製品を長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れるなどの原因になります。



禁止

液漏れの発生した電池は使用しないでください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。



強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

注意



禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・ 強い磁界、静電気が発生するところ
- ・ 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ・ ほこりの多いところ →故障の原因となります。
- ・ 振動が発生するところ →けが、故障、破損の原因となります。
- ・ 平らでないところ →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- ・ 直射日光が当たるところ →故障や変形の原因となります。
- ・ 火気の周辺、または熱気のこもるところ →故障や変形の原因となります。
- ・ 漏電、漏水の危険があるところ →故障や感電の原因となります。



強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



強制

各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。

故障の原因となります。



禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。



禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目次

はじめに

パッケージの内容.....	9
各部の名前と機能.....	11
本体前面.....	11
本体背面.....	12
リモコン.....	13
リモコンに電池を入れる.....	16
リモコンの使いかた.....	17
制限事項.....	17

接続・準備

B-CAS カードをセットする.....	18
本製品をアンテナに接続する.....	19
本製品をテレビに接続する.....	20
付属のビデオ / オーディオケーブルで接続.....	20
高品質の映像を楽しむ (HDMI コネクタに接続).....	20
高品質な映像を楽しむ (D 端子に接続).....	21
本製品に音響機器を接続する場合.....	21
本製品をネットワークに接続する.....	22
インターネットをお使いの場合.....	22
パソコンと直接接続する場合.....	23
本製品に電源ケーブルを接続する.....	23
本製品を初期設定する.....	24

デジタル放送

デジタル放送を視聴する.....	28
電子番組表 (EPG) の表示について.....	29
マルチチャンネルの変更方法について.....	29
本製品の設定.....	30
設定画面を表示する.....	30
受信チャンネル設定.....	32
ネットワーク設定.....	33
システム設定.....	35
テレビ画面設定.....	36
機器情報表示.....	38
BS/CS 受信設定.....	39
地域設定.....	40
視聴設定.....	40
お知らせ.....	41
LinkStation の PC 連動電源機能への対応について.....	41

ファイル再生

パソコンに MediaServer2 をインストールする	42
パソコンのデータを再生する	44
再生するフォルダーを登録する	44
データをテレビで再生する	45
ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する	47
USB コネクタに接続した機器から再生する	49
DVD ISO イメージ の再生について	51
ハイビジョンビデオカメラ録画データを再生する	52
パソコンに移動した録画データを再生する	52
直接ビデオカメラを本製品に接続して再生する	52
本製品に接続したハードディスクに直接保存する	53
お気に入りフォルダーの登録とアクセス	57
お気に入りフォルダーの登録	57
お気に入りフォルダーへのアクセス	59
最近再生したコンテンツの再生	60
Mac OS X の共有フォルダーにアクセスするには	62
Mac OS 側の設定	62
本製品側の設定	67
DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する	69
Windows Media Connect サーバーのデータを再生する	70
Windows Media DRM で著作権管理されたコンテンツを再生する	70
ファイル再生のメニュー	71

付録

ルーターをお持ちでない方へ (IP アドレスを手動で設定する手順)	73
パソコンの IP アドレスを確認する	73
本製品の IP アドレスを設定する	75
トランスコーダーについて	77
ファームウェアアップデート方法	79
困ったときは	81
用語集	88
チャンネル一覧表	90
仕様	94
再生できるファイルの種類	95

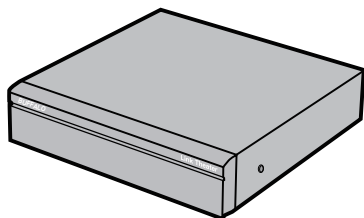
はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

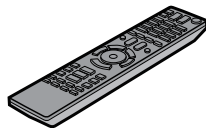
パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。確認した項目には✓をつけてください。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

LT-H90DTV (本体).....1 台



リモコン.....1 個



電源ケーブル (1.8m).....1 本



単四形乾電池 (リモコン用)..2 個



LAN ケーブル
(ストレート /2m).....1 本



ユーティリティ CD.....1 枚



ビデオ / オーディオケーブル
(1.5m).....1 本



ユーザーズマニュアル (本書)..1 冊



B-CAS (ビーカス) カード.....1 枚

はじめにお読みください.....1 枚

B-CAS
「ファーストステップガイド」.....1 冊

次のページへ続く

B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。B-CAS カードはユーザー登録をおすすめします(登録は任意で無料です)。B-CAS カードの台紙にある「ユーザー登録はがき」を送っていただくか、ホームページ (<http://www.b-cas.co.jp/>) から登録できます。

また、本製品の修理をご依頼いただく際は、製品と一緒に付属の B-CAS カードも BUFFALO 修理センターへお送りください。

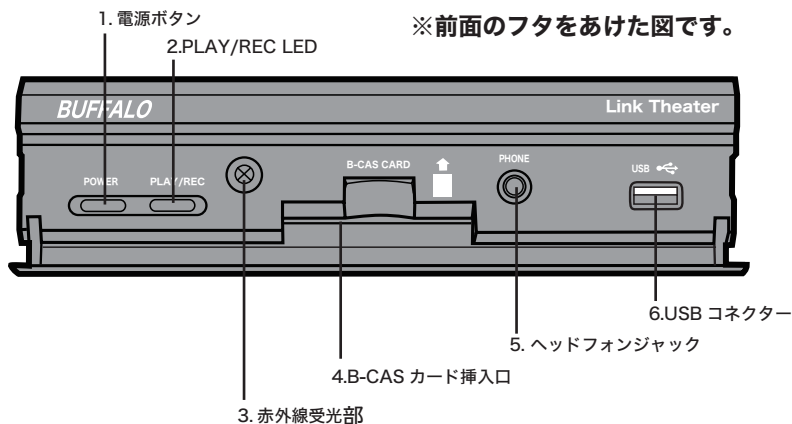
※本製品の保証書は、「はじめにお読みください」に印刷されています。修理の際は必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名前と機能

本体およびリモコンの、各部の名前と機能を説明します。

本体前面



1. 電源ボタン

電源の ON/OFF を切り替えます。

- メモ** 電源ボタンは電源 OFF 時に橙色に点灯し、ON 時は青色に点灯します。

2. PLAY/REC LED

再生中、緑色に点灯します。

3. 赤外線受光部

リモコン信号の受光部です。

※受光部の前に物を置くと、信号を遮らないでください。

4. B-CAS カード挿入口

付属の B-CAS カードを挿入します。

5. ヘッドフォンジャック

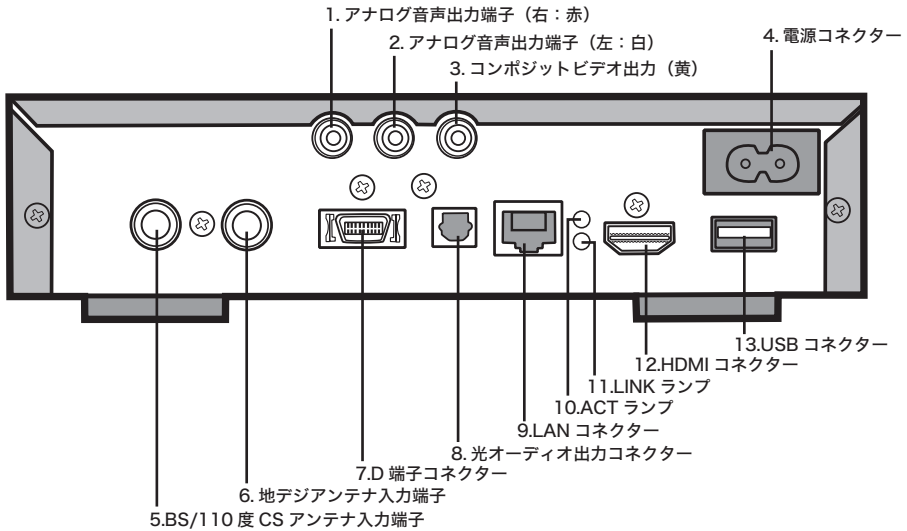
市販のヘッドフォン (Φ 3.5mm ステレオミニプラグ) を接続できます。

※ヘッドフォンで使用する前に音量が適切であるかご確認ください。大音量でヘッドフォンを使用しないようご注意ください。

6. USB コネクター (シリーズ A)

ハードディスクやフラッシュメモリー、カードリーダー、デジタルカメラを接続できます。

本体背面



1. アナログ音声出力端子 (右: 赤)

付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

2. アナログ音声出力端子 (左: 白)

付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

3. コンポジットビデオ出力 (黄)

付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

4. 電源コネクタ

付属の電源ケーブルを接続します。

5. BS/110度 CS アンテナ入力端子

BS または 110 度 CS デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販の F 型コネクタアンテナケーブルを別途ご用意ください。

6. 地デジアンテナ入力端子

地上デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販の F 型コネクタアンテナケーブルを別途ご用意ください。

7. D 端子コネクタ

市販の D 端子ケーブルを接続します。

8. 光オーディオ出力コネクタ

市販のデジタル音声ケーブル (光角型コネクタ) を接続します。

9. LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。

10. ACT ランプ

データ送受信時に緑色に点滅します。

11. LINK ランプ

10/100M LINK 時に緑色に点灯します。

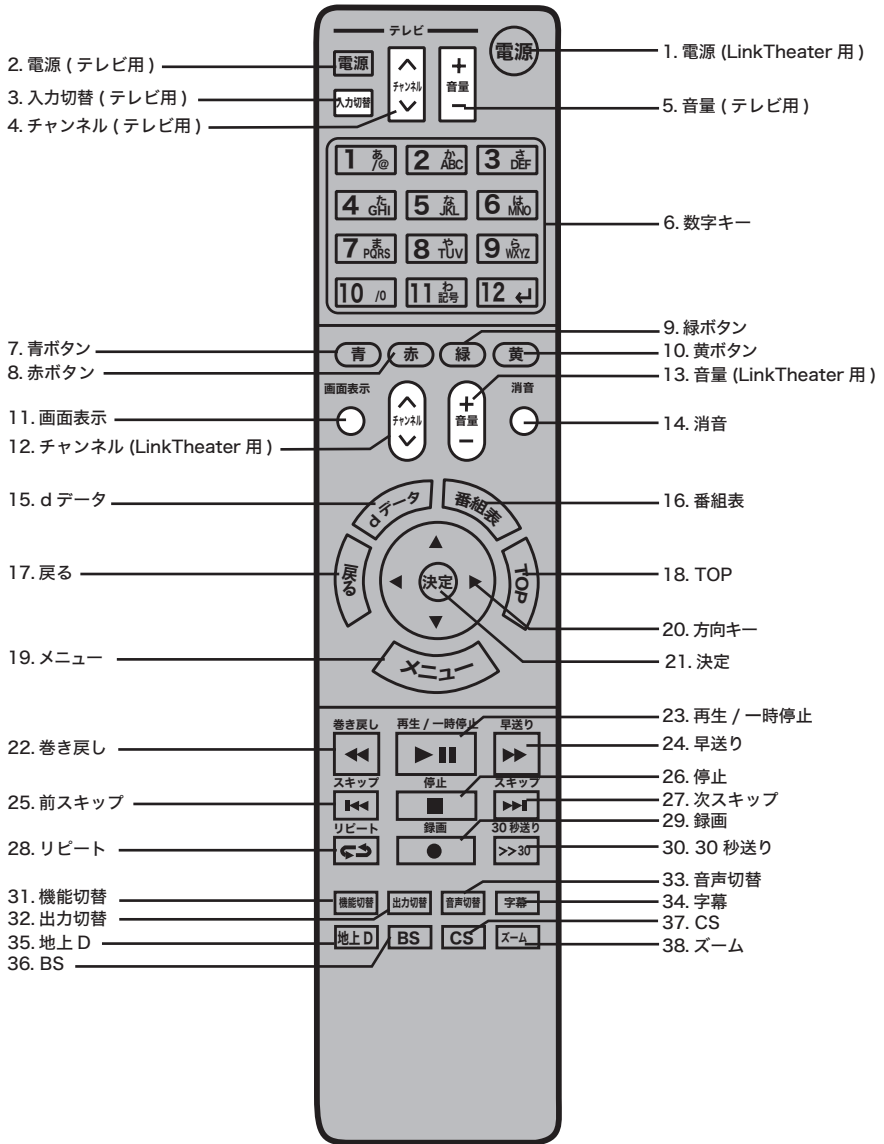
12. HDMI コネクタ

市販の HDMI ケーブルを接続します。

13. USB コネクタ (シリーズ A)

ハードディスクやフラッシュメモリー、カードリーダー、デジタルカメラを接続できます。

リモコン



はじめに

接続・準備

デジタル放送

ファイル再生

付録

次のページへ続く

1. 電源 (LinkTheater 用)

LinkTheater の電源 ON/ スタンバイ状態を切り替えます。

2. 電源 (テレビ用)

テレビの電源 ON/ スタンバイ状態を切り替えます。

3. 入力切替 (テレビ用)

テレビの入力をビデオ入力と切り替えます。

4. チャンネル (テレビ用)

テレビで表示しているチャンネルを変更します。

5. 音量 (テレビ用)

テレビの音量を調整します。

6. 数字キー

デジタル放送視聴では、放送チャンネルを変更します。また、設定メニューでは、英数字入力キーとして使用します。

※本製品では、ひらがなを入力することはできません。

※数字の「0」(ゼロ)を入力する場合は、[10] を押します。

7. 青ボタン

デジタル放送視聴時、画面ごとに青色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。

8. 赤ボタン

デジタル放送視聴時は、画面ごとに赤色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。ファイル再生時に押すとコマ送りします。

9. 緑ボタン

デジタル放送視聴時は、画面ごとに緑色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。ファイル再生時に押すと再生位置を 30 秒前にスキップします。

10. 黄ボタン

デジタル放送視聴時、画面ごとに黄色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。

11. 画面表示

デジタル放送視聴時は、番組情報の表示 / 非表示を切り替えます。ファイル再生時に押すと、再生中のファイルの情報を表示します。

12. チャンネル (LinkTheater 用)

デジタル放送視聴時、LinkTheater で視聴しているチャンネルを変更します。

13. 音量 (LinkTheater 用)

LinkTheater の音量を調整します。

※ HDMI ケーブルで本製品とテレビを接続した場合、ビデオ / 音楽再生時の音量を音量ボタンで調整することはできません。音量はテレビの音量設定を変更して調整してください。本製品は HDMI の CEC(Consumer Electronics Control) による AV 機器の制御に対応していません。あらかじめご了承ください。

14. 消音

LinkTheater の音声を消音する / しなないを切り替えます。

15. d データ

デジタル放送視聴時に押すと、データ放送の表示 / 非表示を切り替えます。

16. 番組表

デジタル放送視聴時に電子番組表 (EPG) の表示 / 非表示を切り替えます。

17. 戻る

前の画面に戻ります。

18. TOP

トップメニューを表示します。

19. メニュー

デジタル放送視聴時に押すと視聴メニューを表示します。

次のページへ続く

20. 方向キー

カーソルを移動します。ファイル一覧表示時に右方向キーを押すとファイルを再生します。再生中に左方向キーを押すと停止します。

21. 決定

選択した項目を決定します。

22. 巻き戻し

再生中に押すと巻き戻しします。巻き戻し速度は押すごとに、 $\times 2/ \times 4/ \times 8/ \times 16/ \times 32/ \times 64$ に変更できます (音楽の場合は $\times 3$ となります)。

※接続するサーバーやファイル形式によっては使用できない場合があります。

23. 再生 / 一時停止

ファイル一覧画面で押すとファイルを再生します。再生中に押すと一時停止します。

24. 早送り

再生中に押すと、早送りします。早送り速度は押すごとに、 $\times 2/ \times 4/ \times 8/ \times 16/ \times 32/ \times 64$ に変更できます (音楽の場合は $\times 3$ となります)。

※接続するサーバーやファイル形式によっては使用できない場合があります。

25. 前スキップ

ファイル (コンテンツ) のはじめから4秒以上経過している場合はファイルの先頭に戻ります。4秒未満の場合は前のファイルを再生します。

26. 停止

再生を停止します。

27. 次スキップ

次のファイル (コンテンツ) があれば次のファイルを再生します。

28. リピート

リピート機能を選択します (ランダム \rightarrow 1ファイルリピート \rightarrow 全ファイルリピート \rightarrow ランダム+全ファイルリピート \rightarrow なし)。

29. 録画

本製品では使用できません。

30.30 秒送り

30秒先から再生します。

31. 機能切替

ファイル再生モードとテレビ視聴モードを切り替えます。

※ テレビ視聴モードからファイル再生モードへの切り替えに約25秒、ファイル再生モードからテレビ視聴モードへの切り替えに約1分かかります。

32. 出力切替

ビデオ出力を切り替えます (D1: 480i \rightarrow D2: 480p \rightarrow D3: 1080i \rightarrow D4: 720p)。

33. 音声切替

音声出力を切り替えます (第一主 \rightarrow 第一副 \rightarrow 第一主/副 \rightarrow 第二主 \rightarrow 第二副 \rightarrow 第二主/副 \rightarrow ...)。

34. 字幕

字幕の表示を切り替えます (第1 \rightarrow 第2 \rightarrow なし)。

35. 地上 D

地上デジタル放送に番組を切り替えます。

36. BS

BS放送に番組を切り替えます。

37. CS

110度CS放送に番組を切り替えます。

38. ズーム

デジタル放送視聴時にボタンを押すと、視聴画面がズームされます。 [P37]

また、写真スライドショーの時に押すと、表示画面が小さい場合には全画面にズームします。

付属のリモコンでのテレビ操作について

(テレビ)と記載されている2～5のボタンで、お使いのテレビを操作することができます。テレビメーカー、製品によってリモコンの信号は異なります。テレビを付属のリモコンで操作するには、あらかじめリモコンの[電源(テレビ用)]ボタンを押しながら、数字キーで設定番号を順に押ししてください。設定番号は次のとおりです。

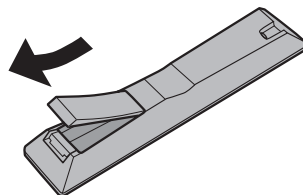
設定番号	メーカー	設定番号	メーカー
0,1	パナソニック(旧:松下電器)1	2,1	NEC1
0,2	パナソニック(旧:松下電器)2	2,2	NEC2
0,3	パナソニック(旧:松下電器)3	2,3	パイオニア
0,4	シャープ1	2,4	富士通ゼネラル
0,5	シャープ2	2,5	アイワ1
0,6	シャープ3	2,6	アイワ2
0,7	ソニー1	2,7	アイワ3
0,8	ソニー2	2,8	船井1
0,9	東芝1	2,9	船井2
1,0	東芝2	3,0	船井3
1,1	日立1	3,1	船井4
1,2	日立2	3,2	船井5
1,3	日立3	3,3	SUMSUNG
1,4	三菱1	3,4	LG
1,5	三菱2	3,5	ORION
1,6	三洋1	3,6	PHILLIPS1
1,7	三洋2	3,7	PHILLIPS2
1,8	ビクター1		
1,9	ビクター2		
2,0	ビクター3		

△注意 一部、動作しない機器もあります。動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。

リモコンに電池を入れる

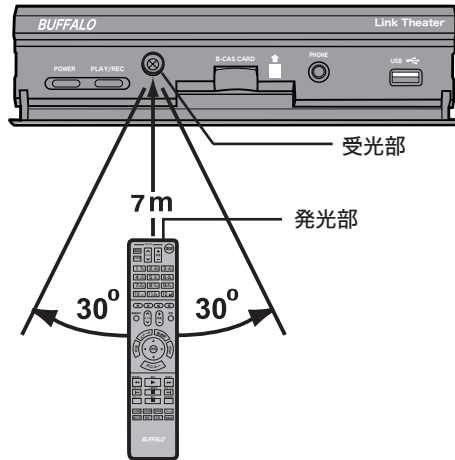
リモコンを使用できるように電池を入れます。本製品のリモコンは単四形乾電池2本で動作します。リモコン裏面の電池カバーを開け、電池を入れてください。+と-の向きはリモコンに記載されています。

- △注意**
- ・+と-の向きに注意して正しく入れてください。
 - ・付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取替えてください。



リモコンの使いかた

本リモコンを使うときは、リモコンの発光部を本体の受光部に向けます。
リモコンの使用可能位置については、下図を参照してください。



制限事項

本製品には以下の制限事項があります。

■ 本製品でパソコンが認識できないときは

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品でパソコンが認識できないことがあります。このようなときは、ファイアウォール機能を無効にするか、ポートの使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。【P84】

■ 本製品は、デジタル放送の双方向サービスには対応していません。

■ 本製品で再生できるファイルは、最長で 13 時間までです。

13 時間を超えるファイルの場合、正常に再生、早送り、巻き戻しができません。

■ 製品本体からの放熱について

本製品は、製品本体から放熱する機構となっています。本体表面に触れると熱く感じますが使用上の問題はありませぬ。空気の流れを妨げないよう、次の事項に注意してください。

- ・ 本体の上に物をのせないでください。
- ・ 本体の周囲には十分なスペースをあけてください。

接続・準備

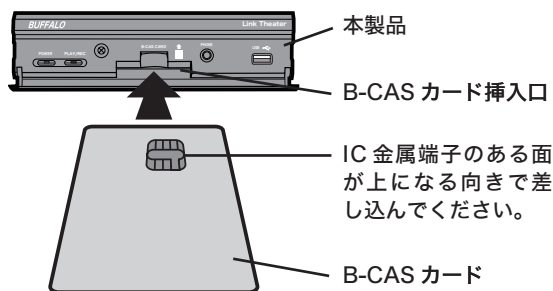
本製品の使用するために必要な準備、接続方法について説明しています。

B-CAS カードをセットする

デジタル放送を視聴するには、本製品に付属の B-CAS カードをセットする必要があります。必ず次のようにセットしてください。

< 前面から見た図 >

※前面のフタをあけた図です。



< B-CAS カードのお問合せ先 >

株式会社
ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター

TEL : 0570-000-250

受付時間 :

10 : 00 ~ 20 : 00



注意

【 B-CAS カードの取り扱い上のご注意 】

- ・ B-CAS カードをセットするときは、向きに注意して確実に差し込んでください。また B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- ・ 本製品使用中は、B-CAS カードに触れたり、抜き差ししたりしないでください。
- ・ B-CAS カードの IC 金属端子には手を触れないでください。
- ・ B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- ・ B-CAS カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- ・ B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
- ・ B-CAS カードを分解、加工をしないでください。

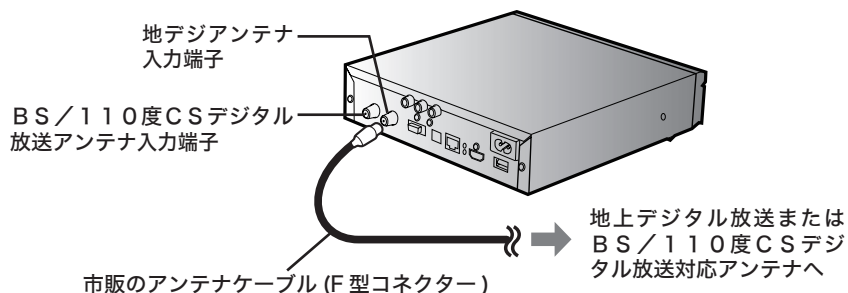
【 B-CAS カード保管の際の注意 】

付属の B-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくためのカードです。万が一、破損や紛失などした場合は、右上部に記載の B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。あらかじめご了承ください。

また、第三者がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

次へ ▶ 本製品にアンテナを接続します。【P19】

本製品をアンテナに接続する



注意

- ・ F型コネクター以外のアンテナケーブルで取り付ける場合、別途変換アダプターが必要です。
- ・ すでに壁のアンテナ端子とテレビを接続している場合は、市販のアンテナ分配器をご利用ください。アンテナ分配器を利用すれば、本製品とテレビをどちらも接続できるようになります。

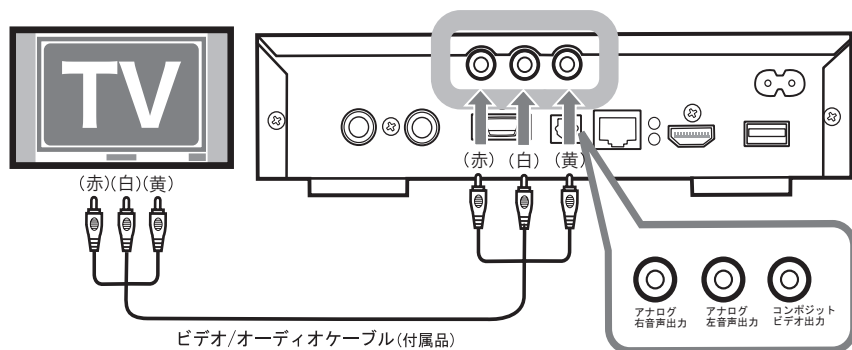
本製品をテレビに接続する

本製品をテレビに接続します。テレビに HDMI コネクタや D 端子がある場合、より高品質の映像をご覧いただけます。

注意 本製品の映像出力端子を 2 系統以上接続（コンポジットビデオ出力と D 端子をどちらも接続するなど）しないでください。

付属のビデオ / オーディオケーブルで接続

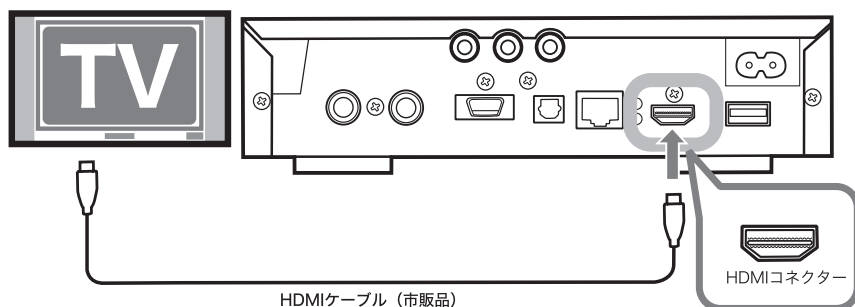
付属のビデオ / オーディオケーブルでテレビ（ビデオ映像コンポジット入力）と本製品を接続します



次へ 本製品をネットワークに接続します。【P22】

高品質の映像を楽しむ（HDMI コネクタに接続）

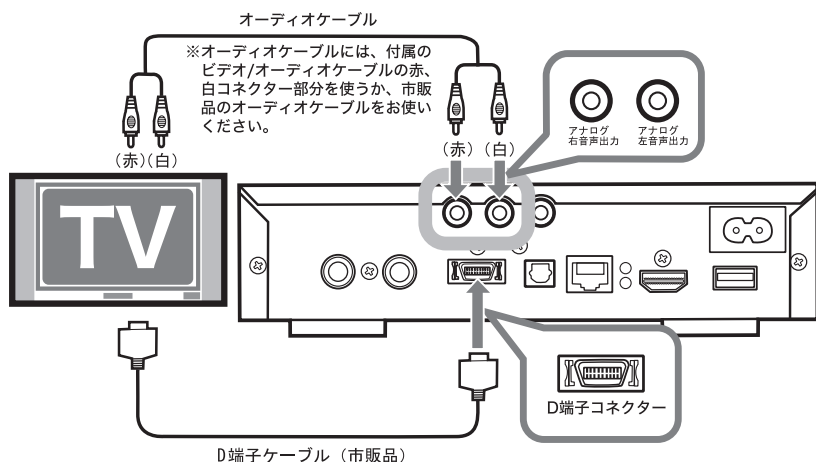
お使いのテレビに HDMI 端子がある場合、付属のビデオ / オーディオケーブルで接続するよりも鮮明な映像をお楽しみいただけます。なお、HDMI 端子に接続するには、市販の HDMI ケーブルが必要です。



次へ 本製品をネットワークに接続します。【P22】

高品質な映像を楽しむ (D 端子に接続)

お使いのテレビに D 端子がある場合、以下のように接続してください。なお、D 端子および音声入力端子に接続するには、市販の D 端子ケーブルと、市販のオーディオケーブルが必要です。

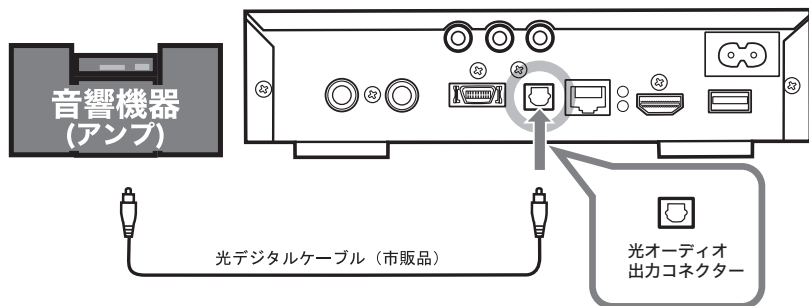


注意 プログレッシブ再生映像を表示したい場合は、D2 以上の入力端子を持つテレビと接続してください。D1 の入力端子と接続してもプログレッシブ再生した映像は表示されません。

次へ 本製品をネットワークに接続します。【P22】

本製品に音響機器を接続する場合

本製品の音声を音響機器（デコーダー付デジタルアンプなど）と接続する場合は、市販の光デジタルケーブルで接続してください。接続する音響機器がドルビーデジタルや DTS などに対応している場合は、迫力ある音声で楽しむことができます。



メモ 接続や準備が完了した後、本製品の設定画面で「光デジタル音声出力 (OPTICAL)」を設定してください (P35)。

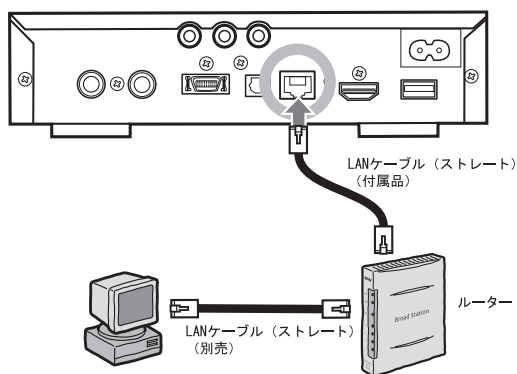
次へ 本製品をネットワークに接続します。【P22】

本製品をネットワークに接続する

インターネットをお使いの場合

本製品とルーターを付属の LAN ケーブル (ストレート) で接続します。

注意 お使いの環境にルーターがない場合 (DHCP サーバーを使用していないとき) は、本製品のネットワーク設定を手動で行う必要があります。本製品の接続が完了したら、「ルーターをお持ちでない方へ」(P73) を参照してネットワーク設定を行ってください。



メモ ルーターとは
複数のパソコンやネットワーク機器 (本製品を含む) を使用する場合に、各機器のネットワーク設定を自動で設定する機器です。

- 注意** 別途 LAN ケーブルをご用意される方へ
- 100Mbps でネットワークを構築するときは、必ず付属のケーブルまたはカテゴリ 5 対応の LAN ケーブル (弊社製 ETP ケーブルなど) をお使いください。
 - 自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。

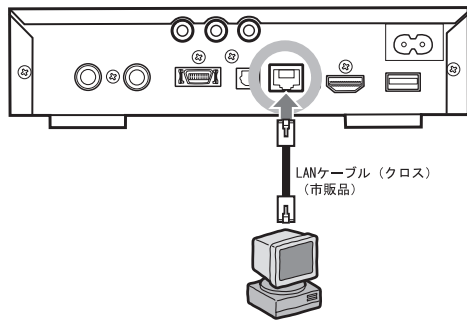
次へ 本製品に電源ケーブルを接続します。【P23】

パソコンと直接接続する場合

パソコンと本製品を直接接続したい場合は、市販のクロスケーブルが必要です。以下のように接続してください。

本製品とパソコンを市販の LAN ケーブル (クロス) で接続します。

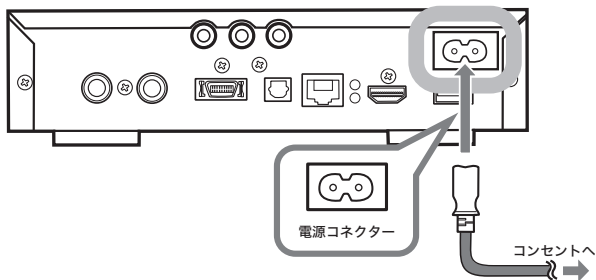
- 注意**
- ・ 付属の LAN ケーブルはストレートケーブルです。クロスケーブルは別途ご用意ください。
 - ・ パソコンと直接接続した場合、本製品の IP アドレスは手動で設定してください。【P73】



次へ 本製品に電源ケーブルを接続します。

本製品に電源ケーブルを接続する

付属の電源ケーブルを本製品背面の電源入力端子とコンセントに接続します。




次へ 本製品を初期設定します。【P24】

本製品を初期設定する

本製品の初期設定（テレビ画面、受信チャンネル、ネットワーク等）を行います。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 テレビの画面に「かんたん初期設定」が表示されます。

※ 本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのかわかるよう、テレビ画面に テレビの画面  と案内しています。

※ 本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。




テレビの画面



- 3 表示された初期設定のながれをよく読み、リモコンの【決定】ボタンを押します。

- 4 テレビの形、解像度を選択し、リモコンの【決定】ボタンを押します。

 **メモ** D1とD2は、4:3の通常画面、D3とD4は16:9のワイド画面です。

D1：解像度 480i(インタレース)

D2：解像度 480p(プログレッシブ)

D3：解像度 1080i(インタレース)

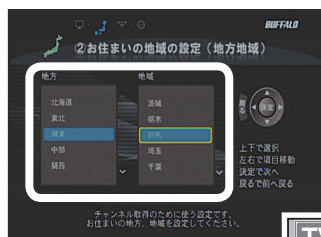
D4：解像度 720p(プログレッシブ)



テレビの画面



- 5 お住まいの地域を選択し、リモコンの【決定】ボタンを押します。



テレビの画面



次のページへ続く

- 6 お住まいの地域の郵便番号を入力し、リモコンの[決定]ボタンを押します。



テレビの画面



はじめに

- 7 B-CAS カードを本製品にセットし、アンテナケーブル、LAN ケーブルを接続します。

リモコンの[決定]ボタンを押します。



テレビの画面



接続・準備

- メモ** ・すでに P18 ~ 23 を参照して B-CAS カード、アンテナ、LAN ケーブルを取り付けている方はそのままの状態でもかまいません。
- ・チャンネルスキャンが開始されます。チャンネルのスキャンには数分かかることがあります。

- 8 受信可能なチャンネル(放送局)が表示されます。リモコンの[決定]ボタンを押します。



テレビの画面



デジタル放送

ファイル再生

付録

次のページへ続く

9 [ネットワークの設定をする] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ ネットワークを設定しない(ネットワーク経由でのファイル再生を本製品で行わない)場合は、[後で設定する]を選択し、手順 13 へお進みください。

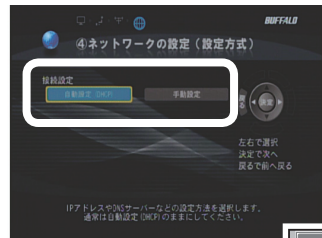


テレビの画面



10 [自動設定 (DHCP)] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

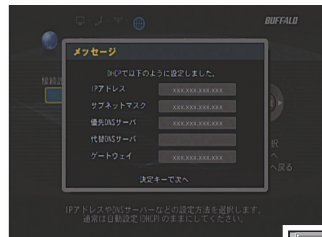
メモ 本製品を接続しているネットワークにDHCPサーバーがないときは、[自動設定]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押してください。【P73】



テレビの画面



11 設定したネットワーク情報を確認し、リモコンの [決定] ボタンを押します。



テレビの画面



12 [使用しない] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。


メモ プロキシサーバーを設定したい方は、[使用する]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押してください。以降は画面の指示にしたがってプロキシサーバー名、ポート番号を入力してください。



テレビの画面



13 「設定が完了しました」と表示されたら、リモコンの【決定】ボタンを押します。

 自動的にファームウェアのアップデートが開始されます。アップデートが完了すると自動的に本製品は再起動します。手順9で[後で設定する]を選択したときや、既に最新のファームウェアだったとき、アップデートできなかったときは、再起動画面は表示されません。

14 本製品の再起動後、本製品のトップ画面が表示されます。

以上で本製品の初期設定は完了です。



テレビの画面



デジタル放送

地上デジタル、BS/110度CS デジタル放送の視聴について説明しています。

デジタル放送を視聴する

本製品でデジタル放送を視聴するときは、以下の手順で行ってください。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの[**TOP**]ボタンを押します。
- 3 [**テレビ視聴**]を選択し、リモコンの[**決定**]ボタンを押します。



テレビの画面



- 4 デジタル放送がテレビの画面に表示されます。

※右の画面は、リモコンの[メニュー]ボタンを押して視聴メニューを表示した例です。



テレビの画面



以上でデジタル放送の視聴は完了です。

リモコンでの操作(チャンネル変更、音量調整等)については、P13をご参照ください。

次のページへ続く

📺 視聴メニューでの操作について

テレビ番組視聴中に、リモコンの [メニュー] ボタンを押すと、視聴メニューがテレビ画面に表示されます。

視聴メニューでは次のことが設定できます。

- ・ 音声
音声を切り替えます (第一音声 → 第二音声 → …)。
- ・ 音声多重
主 / 副音声を切り替えます (主音声 → 副音声 → 主 / 副音声)。
- ・ 字幕
字幕対応の番組の場合、字幕 (放送内容と連動した文字データ) の表示を なし / 日本語 / 英語に切り替えます。
- ・ 文字スーパー
文字スーパー対応の番組の場合、文字スーパー (放送内容と関係のないニュースや天気予報といった文字データ) の表示をオフ / オンに切り替えます。
- ・ ダイレクト選局
リモコンの数字キーで直接数字を (3桁) 入力してチャンネルを切り替えます。
- ・ 受信レベル表示
現在のチャンネルの受信レベルを表示します。

電子番組表 (EPG) の表示について

テレビ番組視聴中に、リモコンの [番組表] ボタンを押すと電子番組表 (EPG) をテレビ画面に表示させることができます。電子番組表のデータは、テレビ視聴中に、視聴中の番組と次の番組しか取得しません。

電子番組表を表示中に、リモコンの黄色ボタンを押すと、選択している放送局の番組表データを取得します。

また、電子番組表データは本製品がスタンバイ状態のときに自動的に取得します (地上 / BS デジタル放送の番組情報を取得するには約 4 時間かかります)。

※本製品前面またはリモコンの電源ボタンを押すことで電源 ON / スタンバイ状態が切り替わります。

※番組表データを取得中 (地上デジタル放送の場合は 2 分 30 秒、BS/110 度 CS デジタル放送の場合は 4 分 30 秒の間) は、リモコン操作ができなくなりますのでご注意ください。

※放送状態によって、全ての番組表データが取得できないことがあります。

マルチチャンネルの変更方法について

放送局では、ハイビジョン放送 1 番組の代わりにマルチチャンネルとして標準画質放送を同時に 3 番組放送することがあります。このような場合、マルチチャンネルに切り替えるには、現在視聴しているチャンネルが割り当てられているリモコンの数字キーを押すとマルチチャンネルに切り替わります。

本製品の設定

本製品の詳細設定を説明します。

設定画面を表示する

本製品の設定は以下の手順で起動します。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの[TOP]ボタンを押します。
- 3 [設定]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。



テレビの画面



- 4 設定画面の項目を選択してリモコンの[決定]ボタンを押すと、設定項目を表示します。



テレビの画面



以上で設定画面の表示は完了です。

次のページへ続く

📄 メモ 設定画面からできること

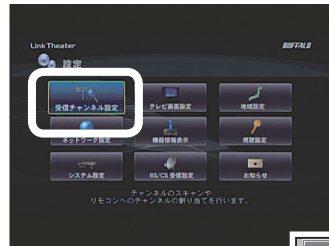
設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **受信チャンネル設定**
チャンネルのスキャン、チャンネル番号の変更等を行います。
- **ネットワーク設定**
本製品の IP アドレスやプロキシサーバーを設定します。
- **システム設定**
LED の明るさ調整、光デジタル音声出力設定、操作音量設定、システムアップデート、設定初期化を行います。
- **テレビ画面設定**
画面出力モード、メニュー表示位置、スクリーンセーバー起動時間を設定します。
- **機器情報表示**
本製品の MAC アドレス、ソフトバージョン、B-CAS カードの種別・カード ID 等を表示します。
- **BS/CS 受信設定**
衛星アンテナへの電源供給設定、降雨放送の受信設定を行います。
- **地域設定**
お住まいの地方、地域を指定します。
- **視聴設定**
視聴年齢制限設定を行います。
- **お知らせ**
放送局、受信機からのお知らせを表示します。

受信チャンネル設定

チャンネルのスキャン、チャンネル番号の変更等を行います。

- 1 設定画面から[受信チャンネル設定]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。



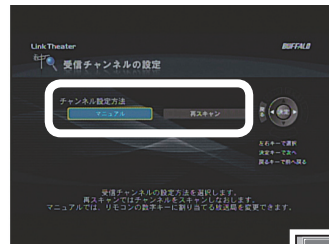
テレビの画面



- 2 受信チャンネル設定方法を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

メモ [再スキャン]を選択すると、自動的に地上/BS/110度CSデジタル放送全てをスキャンします。チャンネルのスキャンには数分かかります。

[マニュアル]を選択すると、地上デジタル、BS/110度CS各放送波のチャンネルと放送局名の対応を変更できません。画面の指示にしたがって変更してください。



テレビの画面



- 3 リモコンの[決定]ボタンを押します。



テレビの画面



以上で受信チャンネルの設定は完了です。

メモ 登録できるチャンネル数は地上/BS/110度CSデジタル放送それぞれ32チャンネルまでです。110度CSデジタル放送については、32チャンネルよりも多い番組が放送されています。お客様の視聴したい番組に応じて登録するチャンネルを変更してください。

ネットワーク設定

本製品の IP アドレスやプロキシサーバーを設定します。

1 設定画面から [ネットワーク設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。



テレビの画面



2 設定方式を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ 本製品を接続しているルーターがあるときは、[自動設定 (DHCP)] を選択すると、自動的に IP アドレスが割り当てられます。本製品を接続したネットワーク上にルーターがない場合は、[手動設定] を選択し、画面の指示にしたがって IP アドレスを指定してください。



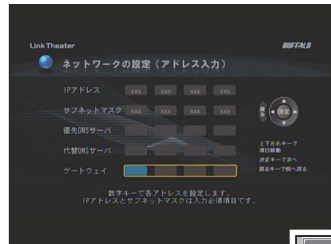
テレビの画面



<手動設定画面>

リモコンの数字キーで数字を入力し、方向キーで項目を移動します。[決定] ボタンで次の画面へ進みます。

- ・IP アドレス (必須入力項目です)
本製品の IP アドレスを設定します。
- ・サブネットマスク (必須入力項目です)
サブネットマスクを設定します。
- ・優先 DNS
DNS サーバー (プライマリ) を設定します。
- ・代替 DNS
DNS サーバー (セカンダリ) を設定します。
- ・ゲートウェイ
ゲートウェイを設定します。



テレビの画面



※詳しくは、付録の「ルーターをお持ちでない方へ」(P73) を参照してください。

はじめに

接続・準備

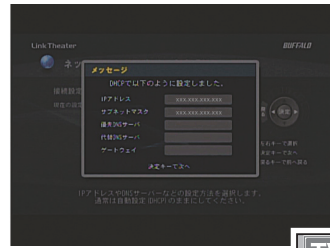
デジタル放送

ファイル再生

付録

次のページへ続く

3 設定したIPアドレスを確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

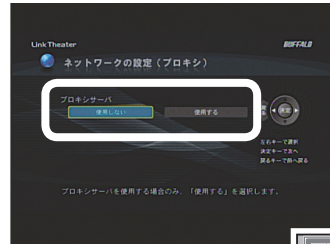


テレビの画面



4 プロキシサーバーの使用する / しないを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

- メモ** [使用する]を選択した場合画面の指示にしたがって、HTTP(HTTP)プロキシサーバー名とポート番号を入力してください。
- リモコンの数字キーで数字を入力し、方向キーで項目を移動します。[決定]ボタンで次の画面へ進みます。



テレビの画面

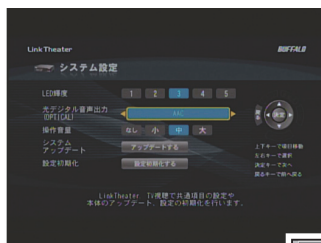


以上でネットワークの設定は完了です。

システム設定

LED の明るさ調整、光デジタル音声出力、操作音量設定、システムアップデート、設定初期化を行います。

- 1 設定画面から [システム設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。
- 2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。



テレビの画面



以上でシステムの設定は完了です。

システム設定画面からできること

システム設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **LED 輝度**
本製品前面にある LED ランプの明るさを 5 段階で調節します。
- **光デジタル音声出力 (OPTICAL)**
光デジタル音声出力を [なし][DOLBY DIGITAL][AAC][DOLBY DIGITAL + AAC] から指定します。
- **操作音量**
操作音量を [なし][小][中][大] から選択することができます。
- **システムアップデート**
本製品のファームウェアを最新版にアップデートします。
アップデートには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。
- **設定初期化**
本製品の設定を出荷時設定に戻します。

はじめに

接続・準備

デジタル放送

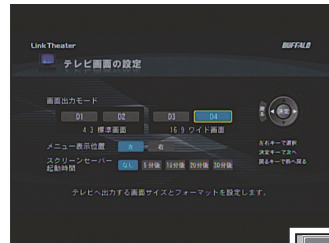
ファイル再生

付録

テレビ画面設定

テレビの解像度、メニュー表示位置、スクリーンセーバー起動時間を設定します。

- 1 設定画面から[テレビ画面設定]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。
- 2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定]ボタンを押します。



テレビの画面



以上でテレビ画面設定は完了です。

メモ テレビ画面設定から以下の項目を設定することができます。

- **画面出力モード**

テレビの解像度を [D1][D2][D3][D4] から指定します。

D1 と D2 は 4:3 の通常画面、D3 と D4 は 16:9 のワイド画面です。

- **メニュー表示位置**

視聴メニューの表示位置を [左][右] から指定します

- **スクリーンセーバー起動時間**




ファイル再生を行う画面 (TOP 画面で [LinkTheater] を選択) では、スクリーンセーバーを起動することができます。LinkTheater を何分操作しなかった場合にスクリーンセーバーを起動させるかを、[なし][5分後][10分後][20分後][30分後] から指定します。

次のページへ続く





メモ 画面の表示のされ方について

画面の表示のされ方は、お使いのテレビ画面のアスペクト比や本製品の設定によって異なります。

アスペクト比 4:3 の画面を視聴

		本製品の画面の設定	
		D1/D2 設定	D3/D4 設定
4:3 のテレビ			まわりが黒くなります。 リモコンのズームボタンを押すと全画面に表示が切り替わります。
16:9 のテレビ			左右が黒くなります。

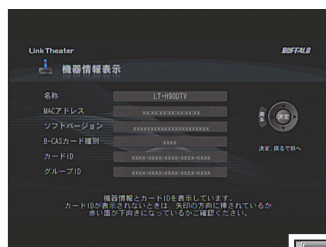
アスペクト比 16:9 の画面を視聴

		本製品の画面の設定	
		D1/D2 設定	D3/D4 設定
4:3 のテレビ		上下が黒くなります。リモコンのズームボタンを押すと下記のように左右の表示が切れて全画面表示となります。 	
16:9 のテレビ		まわりが黒くなります。 リモコンのズームボタンを押すと全画面に表示が切り替わります。	

機器情報表示

本製品の MAC アドレス、ソフトウェアバージョン、B-CAS カードの種別・カード ID 等を表示します。

- 1 設定画面から [機器情報表示] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。
- 2 各情報を確認します。リモコンの [決定] ボタンを押すと、設定画面に戻ります。



テレビの画面



以上で機器情報の表示は完了です。

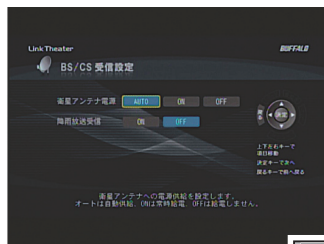
メモ 機器情報表示画面から以下の情報を確認することができます。

- **名称**
本製品の名称を表示します。
- **MACアドレス**
本製品のMACアドレスを表示します。
- **ソフトウェアバージョン**
本製品のファームウェアのバージョンを表示します。
- **B-CAS カード種別**
本製品付属の B-CAS カードの種別を表示します。
- **カード ID**
本製品付属の B-CAS カードのカード ID を表示します。
- **グループ ID**
本製品付属の B-CAS カードのグループ ID を表示します。

BS/CS 受信設定

衛星アンテナへの電源供給設定、降雨放送の受信設定を行います。

- 1 設定画面から **[BS/CS 受信設定]** を選択して、リモコンの **[決定]** ボタンを押します。
- 2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、**[決定]** ボタンを押します。



テレビの画面



以上で BS/CS 受信設定は完了です。

BS/CS 受信設定画面からできること

BS/CS 受信設定画面から以下の項目を設定することができます。

• 衛星アンテナ電源

BS/CS デジタル放送の衛星アンテナに電源を供給するかを、[AUTO][ON][OFF] から指定します。
出荷時設定では、[AUTO] に設定されています。[AUTO] に設定されている場合、本製品の電源 ON/OFF に同期してアンテナへの給電を行います。

衛星アンテナと本体を直接接続する場合、給電が必要です。設定は [AUTO] または [ON] にしてください。
マンション等でアンテナを分配してる場合など電源供給が不要な場合は、設定を必ず [OFF] にしてください。


• 降雨放送受信

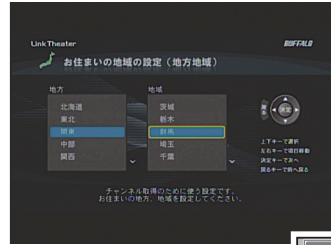
降雨時の電波状況が悪い際に、自動的に降雨放送を受信するように切り替えるかを [ON][OFF] から指定します。

地域設定

お住まいの地方、地域を指定します。

- 1 設定画面から [地域設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。
- 2 お住まいの地域を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

 **メモ** 次に表示される画面では、お住まいの郵便番号をリモコンの数字キーで入力し、[決定] ボタンを押してください。



テレビの画面



以上で地域設定は終了です。

視聴設定

視聴年齢制限設定を行います。

- 1 設定画面から [視聴設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。
- 2 [視聴年齢制限をする] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。
- 3 暗証番号をリモコンで入力し、[決定] ボタンを押します（出荷時設定では、「0000」となっています）。
- 4 リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

次のページへ続く

以上で視聴設定は完了です。

視聴設定画面からできること

視聴設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **暗証番号 (4桁)**
視聴年齢制限を設定するための暗証番号を設定、変更できます。
工場出荷時の暗証番号は 0000 です。
- **視聴年齢制限**
視聴年齢に制限のある番組 (R15 指定など) を受信制限する年齢を設定します。工場出荷時の設定は「制限なし」です。

お知らせ

放送局、受信機からのお知らせを表示します。

- 1 **設定画面から [お知らせ] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。**
- 2 **放送局、受信機からお知らせがある場合にメッセージが表示されています。ご確認ください。**

LinkStation の PC 連動電源機能への対応について

本製品は LinkStation の PC 連動電源機能 (パソコンの電源 ON/OFF に合わせて、自動的に LinkStation の電源を ON/OFF する機能) に対応しています。LinkStation が接続されているネットワークのパソコンを全て電源 OFF、および本製品の電源を OFF (スタンバイ) にすると、自動的に LinkStation の電源が OFF になります。

注意 ・本製品の電源ケーブルを抜くなどして電源 OFF にした場合は、正常に PC 連動電源機能が動作しません。本製品付属のリモコン、または本製品前面の電源ボタンで OFF (スタンバイ) にしてください。

- PC 連動電源機能で LinkStation の電源を OFF にするには、本製品に LinkStation を登録する必要があります。登録は、LinkStation と本製品の電源を ON にして同じネットワークに 5 分程度接続していれば自動で行なわれます。もし本製品の電源と LinkStation の電源がうまく連動しないときは、一度 LinkStation 内の共有フォルダーにあるファイルを再生してください。LinkStation 内の共有フォルダーに本製品からアクセスすると、LinkStation が本製品に登録されます。再生手順については、P69 「DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する」をご参照ください。

ファイル再生

ネットワーク上や USB コネクターに接続した記憶装置からのファイル再生を説明しています。

パソコンに MediaServer2 をインストールする

本製品と接続するパソコン（再生するファイルを保存しているパソコン）に MediaServer2 をインストールします。MediaServer2 をインストールしたパソコンは、本製品で自動的に認識できるようになります。

- △注意**
- ・ファイアウォール機能を持つソフトウェアをお使いの場合、ファイアウォール機能を無効にするか、TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可してください。設定に関する手順については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
 - ・プロバイダから配布される PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツールなど）をパソコンにインストールしている場合には、アンインストールしてください。

1 パソコンを起動します。

Windows Vista/XP/2000 をお使いの場合、コンピュータの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。


2 付属の CD をパソコンにセットします。

しばらくすると「簡単セットアップ」が起動します。

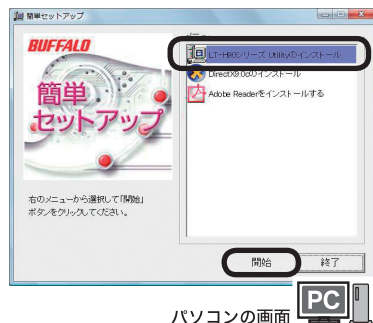
- △注意** Windows Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BuffaloInst.exe の実行] をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

3 「LT-H90 シリーズのインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

右の画面が表示されない場合は、付属の CD 内の「BuffaloInst.exe」をダブルクリックしてください。

- ※ 本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのかわかるよう、パソコンテレビ画面に  と案内しています。

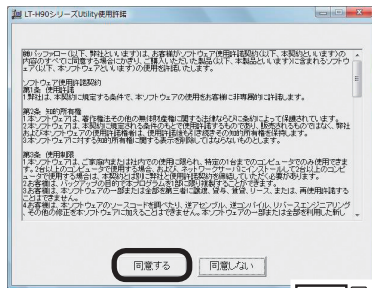
- ※ 本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。



パソコンの画面 

次のページへ続く

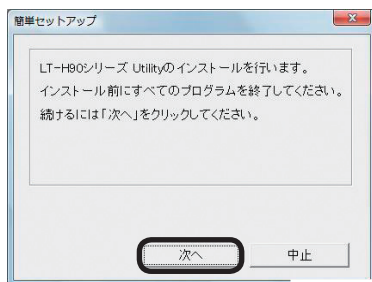
4 使用許諾をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックします。



パソコンの画面



5 [次へ]をクリックします。



パソコンの画面



6 [再起動]をクリックします。パソコンが再起動します。



パソコンの画面



以上で MediaServer2 のインストールは完了です。
MediaServer2 をインストールしたパソコンに保存されたファイルを本製品で再生することができます。

注意 お使いのパソコンによっては、MediaServer2 インストール時に「このプログラムをブロックし続けますか?」と表示されることがあります。
そのようなときは、[ブロック解除]を選択してください。
[ブロックする][後で確認する]を選択してしまったときは、P87を参照してブロックを解除してください。ブロックした状態では、本製品でパソコンを認識できません。

次へ パソコンのデータを再生する【P44】


パソコンのデータを再生する

本製品で、MediaServer2 をインストールしたパソコン内のファイルを再生することができます。映像ファイル、音楽ファイル、写真ファイルによって再生方法が異なります。

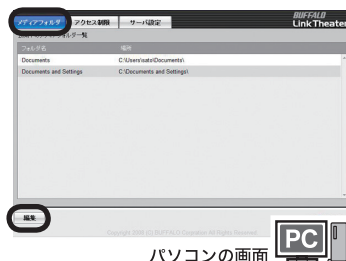
再生するフォルダーを登録する

本製品でパソコンのファイルを再生するには、パソコンの画面で再生フォルダーを登録してください。

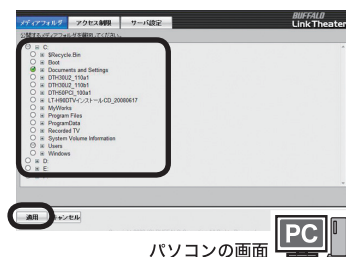
- 1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[メディアマネージャ]をクリックします。MediaServer2 がブラウザで起動します。

 Windows Vista をお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行]をクリックしてください。

- 2 [メディアフォルダ]タブを選択し、[編集]をクリックします。




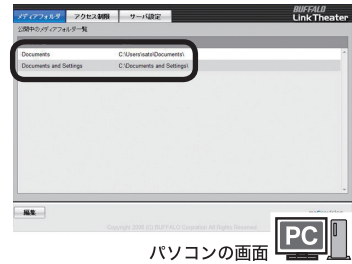
- 3 再生したいファイルがあるフォルダーを選択し、[適用]をクリックします。



次のページへ続く

4 追加したフォルダーが表示されます。

-  画面を閉じるときは、ブラウザのタイトルバー右の [×] をクリックしてください。




以上で再生するフォルダーの登録は完了です。

-  **MediaServer2** の詳細については、ヘルプをご参照ください。**MediaServer2** では、アクセス制限等を設定することもできます。

[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[MediaServer2 ヘルプ] をクリックすると表示されます。

データをテレビで再生する

次のようにパソコンやサーバーのデータをテレビで再生することができます。

-  **注意**
- ・テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。
 - ・ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

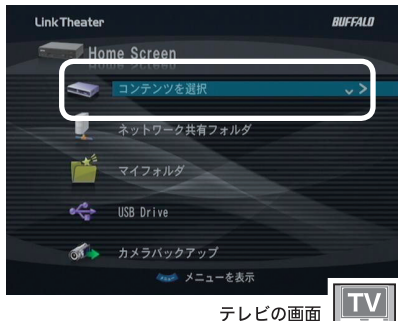
- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。
- 3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※ 「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 25 秒程度かかります)。



次のページへ続く

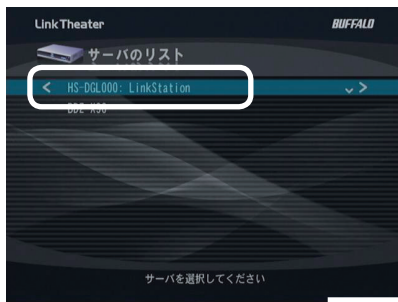
4 [コンテンツを選択]を選択し、リモコンの▶ボタンを押します。



テレビの画面



5 表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの▶ボタンを押します。



テレビの画面



6 再生したいジャンル、ファイルを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

- メモ ・フォルダーを選択してリモコンの[再生 / 一時停止]ボタンを押すと、フォルダーの中のファイルが連続再生されます。
- ・ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。
リモコンの[メニュー]ボタンを押します。→[表示順の変更]→「ソートしない」「タイトル順」「日付順」のいずれかを選択してリモコンの[決定]ボタンを押します。
- ・HDDレコーダなどに録画された地上デジタル放送の再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すと字幕を切り替えることができます。
※字幕情報が失われているコンテンツでは表示できません。

以上でデータの再生は完了です。

ネットワーク共有フォルダを検索して再生する

本製品は、MediaServer2 で登録したフォルダ以外にも、次のように Windows でネットワーク共有フォルダに設定したフォルダを検索して再生することもできます。

- 注意** ・テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子から表示ができる状態にしてください。
・ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。
- 3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※ 「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 25 秒程度かかります)。



テレビの画面



- 4 [ネットワーク共有フォルダ] を選択し、リモコンの▶ボタンを押します。

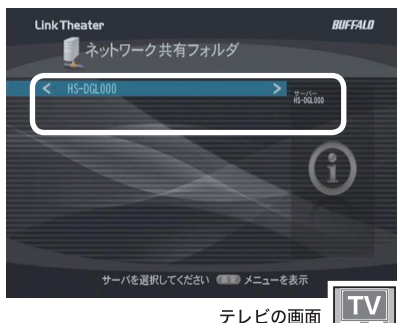
※ネットワーク共有フォルダの検索には数分の時間がかかります。そのままお待ちください。10分以上待っても応答が無い場合は、本製品の接続を再度ご確認ください。



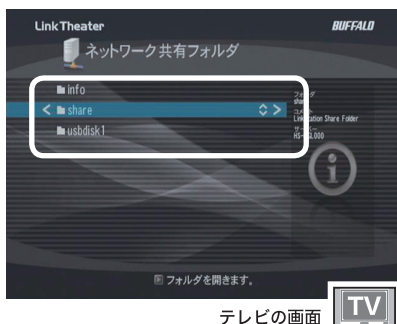
テレビの画面



- 5 サーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



- 6 再生したいフォルダー、ファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

※ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。

リモコンの [メニュー] ボタンを押します。→ [表示順の変更] → 「タイトル順」「日付順」「サイズ順」のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

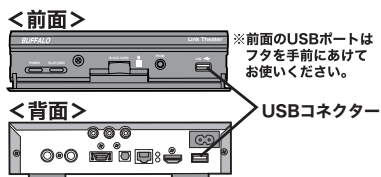
以上でネットワーク共有フォルダーのデータの再生は完了です。

USB コネクタに接続した機器から再生する

本製品の USB コネクタに接続した機器から再生する場合は、以下の手順で行ってください。

- △注意**
- ・ テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。
 - ・ ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。
 - ・ USB 機器を接続したまま本製品の電源を ON すると USB 機器が認識されないことがあります。このようなときは、一度 USB 機器を取り外し、再度取り付けてください。
 - ・ お使いの USB 機器（複数ポートを持った USB カードリーダーなど）によっては、認識できないことがあります。あらかじめご了承ください。

- 1 本製品の USB コネクタに USB ハードディスクまたは USB フラッシュメモリーを接続します。



- 2 本製品の電源を入れます。
- 3 リモコンの [TOP] ボタンを押します。
- 4 [LinkTheater] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※ 「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください（切り替わるまで 25 秒程度かかります）。



テレビの画面

- 5 [USB Drive] を選択し、リモコンの▶ボタンを押します。



テレビの画面

次のページへ続く▶

はじめに

接続・準備

デジタル放送

ファイル再生

付録

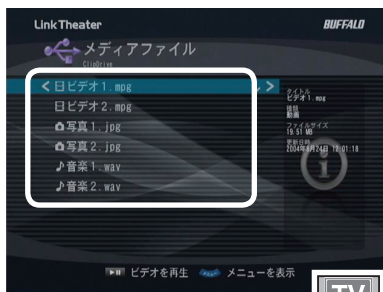
6 USB デバイスのボリュームラベルを選択し、リモコンの▶ボタンを押します。



テレビの画面



7 再生したいファイルやフォルダーを選択し、リモコンの▶ボタンを押します。



テレビの画面



選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

注意 ・再生中は USB 機器を抜き差ししないでください。本製品のシステムが、停止または再起動をすることがあります。

- ・ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。
リモコンの [メニュー] ボタンを押します。→ [表示順の変更] → 「タイトル順」「日付順」「サイズ順」のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で USB コネクタに接続した機器からの再生は完了です。

DVD ISO イメージの再生について

本製品は、ファイル再生としてネットワーク共有フォルダーや本製品のUSBポートに接続したドライブの場合、*.ISOファイル、またはVIDEO_TS/VIDEO_TS.IFOを含むフォルダーを選択して再生することができます。

再生手順は、P47「ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する」、P49「USBコネクタに接続した機器から再生する」をご参照ください。

注意・[コンテンツを選択]では、*.ISOファイル、またはVIDEO_TS/VIDEO_TS.IFOを含むフォルダーを選択して再生することはできません。

- ・1番目のタイトルトラックのみを再生することができます。
- ・メニュー表示には対応していません。
- ・プロテクトが掛かったDVDは再生できません。

ISOファイルまたは下記のフォルダー構成の場合に再生することができます。

- ・DVDタイトル名.ISO ←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すとDVDビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。
- ・DVDタイトル名
 - VIDEO_TS ←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すとDVDビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。
 - VIDEO_TS.IFO ←このファイルが存在しない場合はDVDビデオとして認識されません。
 - ***.VOB ←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと***.VOBファイルを通常のMPEG-2ファイルとして再生することができます。
 - AUDIO_TS

- メモ**・再生中にリモコンの[前スキップ/次スキップ]ボタンを押すとチャプターを切り替えることができます。
- ・再生中にリモコンの[字幕]ボタンを押すと字幕を切り替えることができます。

ハイビジョンビデオカメラ録画データを再生する

本製品は、ハイビジョンビデオカメラの録画形式で使われる AVCHD 形式と HDV 形式の両方に対応しています。

メモ 対応ビデオカメラについては、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

パソコンに移動した録画データを再生する

デジタルビデオカメラで撮った録画データをパソコンの共有フォルダーに移動すれば、本製品からテレビに映像を出力することができます。

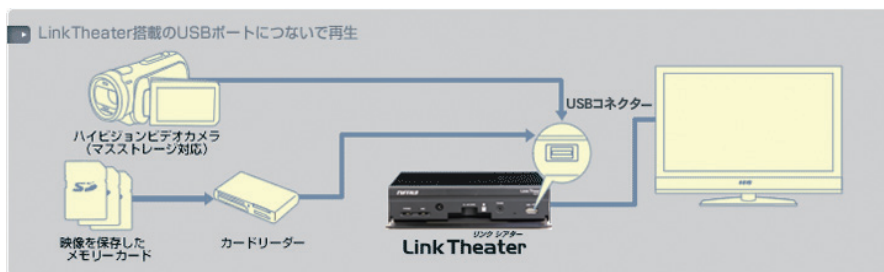
メモ Mac OS X の共有フォルダーにアクセスする方法は、P62 をご参照ください。

直接ビデオカメラを本製品に接続して再生する

ハイビジョン対応のビデオカメラで撮影した映像を、ビデオカメラやメモリーカードに入ったままリビングのテレビで再生することが可能です。本製品の USB コネクターにカードリーダーやビデオカメラを直接つないで、撮影したビデオを LinkTheater で再生することができます。

USB コネクターに接続した機器からの再生手順は P49 をご参照ください。

注意 ビデオカメラがマストレージに対応している必要があります。



※前面のフタをあけた図です。

本製品に接続したハードディスクに直接保存する

本製品には前面と背面に USB コネクターが各 1 個ずつあります。USB コネクターにハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラ、もう一方の USB コネクターにハードディスクをつないで、ハードディスクに映像や画像などを直接保存することができます。



ハイビジョンカメラ、
デジタルカメラ等

LinkTheater
※ 前面のフタをあ
けた図です。

USB 接続ハードディス
クまたは LinkStation/
TeraStation

■ 対応カメラ

- ・ DCF 規格 (DCIM/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
- ・ SD-VIDEO 規格 (SD_VIDEO/ABC001/ABC001.xxx)
- ・ メモリースティックビデオフォーマット (MP_ROOT/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
- ・ AVCHD 規格 (AVCHD/BDMV/STREAM/00001.MTS)

■ 対応ハードディスク

- ・ FAT32 でフォーマットされたもの
- ・ 書き込み可能
- ・ ハードディスクのみ、フラッシュメモリーなどは非対応
- ・ 本製品と同じネットワークに接続されている LinkStation/TeraStation

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。
- 3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※ 「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 25 秒程度かかります)。

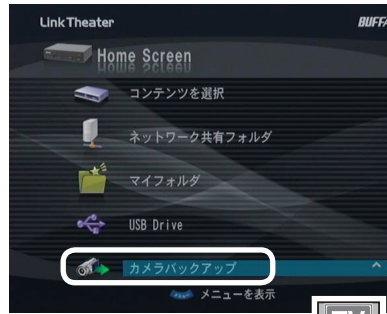


テレビの画面



次のページへ続く

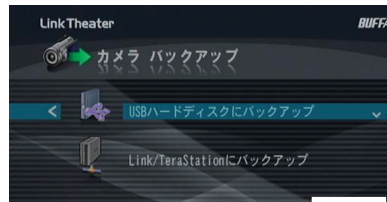
- 4 [カメラバックアップ]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面



- 5 バックアップ先が、USBハードディスクか、LinkStation/TeraStationかを選択し、▶ボタンを押します。



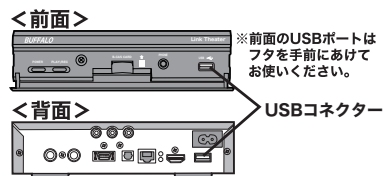
テレビの画面



- 6 画面の指示にしたがって、カメラとハードディスクを接続します。



テレビの画面



- メモ** ・上記の画面は、手順5でUSBハードディスクを選択した場合の画面です。LinkStation/TeraStationを選択の場合、画面の指示にしたがってバックアップ先の共有フォルダーを選択してください。
- ・複数台のカメラやハードディスクが接続されていると、カメラおよびハードディスクの選択画面が表示されます。画面の指示にしたがってバックアップしたいデータが入っているカメラ、バックアップ先に使用したいハードディスクを選択してください。

次のページへ続く▶

メモ

カメラ側の設定をマストレージモードに変更する必要があります。変更の方法はカメラに付属のマニュアルをご参照ください。手順例は次の通りです。

■ ソニー製 HDR-SR1 の例

1. ビデオカメラの電源を ON にします。
 2. USB ケーブルを接続します。
 3. ビデオカメラの設定画面 (USB 機能選択) で、[パソコン接続] を選択します。
- ※ ハードディスクに録画した場合と、メモリースティックに録画した場合で選択するボタンは異なります。詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

■ サンヨー製 Xacti DMX-HD1000 の例

【液晶を閉じた状態でクレードルに設置している場合】

1. USB ケーブルを接続します。
 2. クレードルのボタンを押します。
- 詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

【液晶を開いている場合】

1. ビデオカメラの電源を ON にします。
 2. USB ケーブルを接続します。
 3. ビデオカメラの設定画面 (USB 接続) で [パソコン] を選択します。
- 詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

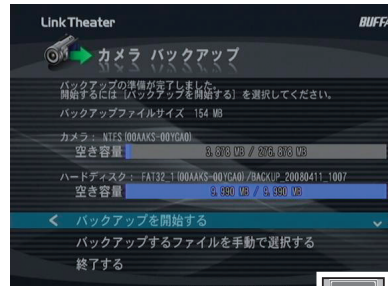
■ ビクター製 Everio GZ-MG330 の例

1. ビデオカメラの電源を ON にします。
 2. USB ケーブルを接続します。
 3. ビデオカメラの設定画面で [パソコンで見る] を選択します。
- 詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

7 バックアップファイルの検出が完了すると次の画面が表示されます。

メモ

画面には、バックアップするファイルサイズ、バックアップ先の空き容量等が表示されます。表示されているディスク領域の青い部分は空き領域です。

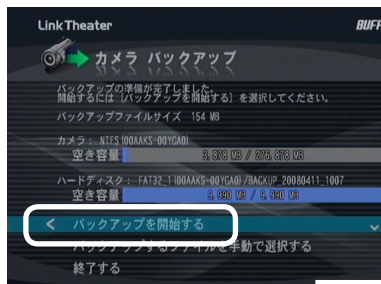


テレビの画面



8 [バックアップを開始する]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

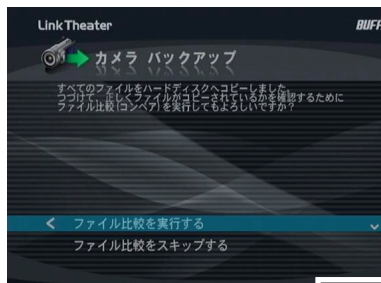
- メモ** [バックアップするファイルを手動で選択する]を選択すると、バックアップするファイルやフォルダーを選ぶことができます。フォルダーを選択した場合、フォルダー内の全てのファイルがバックアップされます。空のフォルダーはバックアップされません。ファイル選択画面で、一番上のディレクトリから、リモコンの◀ボタンを押すと再度バックアップファイル検出中の画面になります。




テレビの画面 

9 バックアップが完了すると次の画面が表示されます。

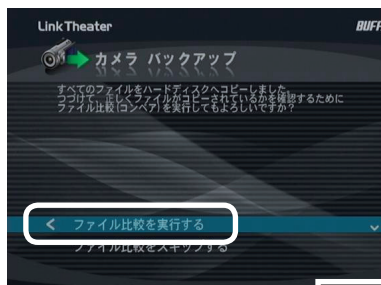
- メモ** バックアップファイルは、下記フォルダーにバックアップされています。
例) BACKUP_20080201_1224
※ BACKUP_の後に表示される文字は、バックアップするファイルの中で一番新しいタイムスタンプの日時となります。




テレビの画面 

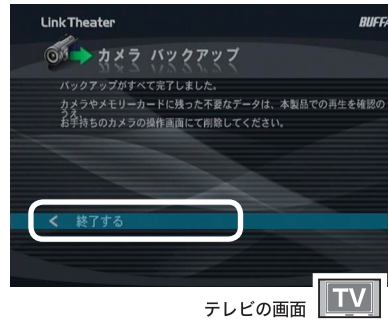
10 [ファイル比較を実行する] 選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

- メモ** ファイル比較とは、バックアップしたファイルと元のファイルと比較してバックアップが正常に完了したかを確認するための処理です。確認が不要な方は、[ファイル比較をスキップする]を選択してください。



テレビの画面 

11 [終了する] 選択し、リモコンの方向キー▶ ボタンを押します。



テレビの画面



以上で保存は完了です。

お気に入りフォルダーの登録とアクセス

お気に入りの動画・音楽・写真データのフォルダーを登録することができます。お気に入り機能の使い方は以下の手順になります。

注意 DLNA 対応サーバのフォルダーのみお気に入りの登録できます。USB ハードディスク・USB フラッシュメモリー・ネットワーク共有フォルダーはお気に入りの登録できません。

お気に入りフォルダーの登録

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。
- 3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※ 「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 25 秒程度かかります)。

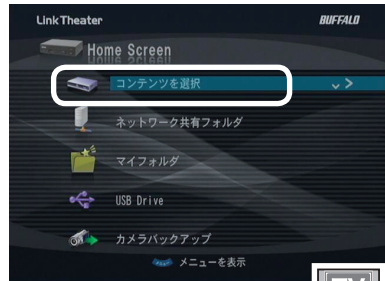


テレビの画面



次のページへ続く

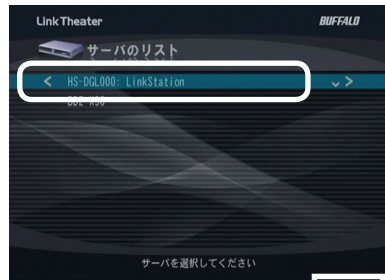
- 4 [コンテンツを選択]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面



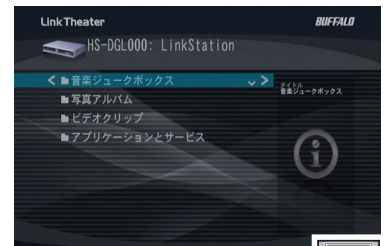
- 5 表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面



- 6 お気に入りに登録したい、フォルダー・ファイルを選択し、リモコンの[メニュー]ボタンを押します。



テレビの画面



- 7 [選択した項目をお気に入りに追加]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面



以上でお気に入りフォルダーの登録は完了です。

お気に入りフォルダーへのアクセス

はじめに

接続・準備

デジタル放送

ファイル再生

付録

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。
- 3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

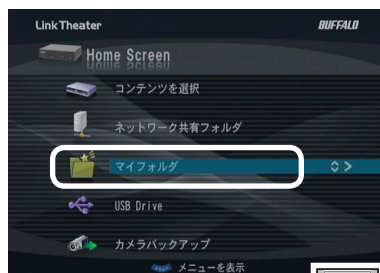
※ 「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 25 秒程度かかります)。



テレビの画面



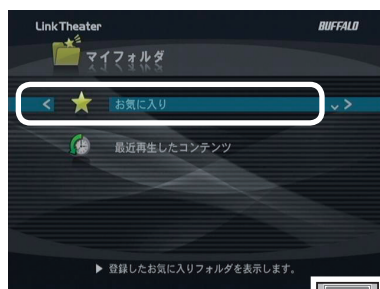
- 4 [マイフォルダ] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面



- 5 [お気に入り] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



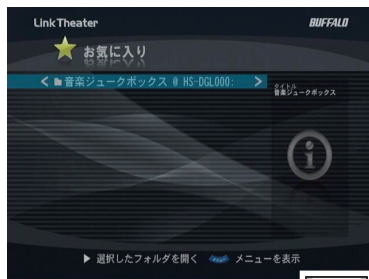
テレビの画面



次のページへ続く▶

6 アクセスしたいフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

- メモ**
- お気に入りに登録したフォルダーを削除するには、リモコンの[メニュー]ボタンを押し、表示されたメニューから[お気に入りから削除]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押してください。
 - フォルダを選択してリモコンの[再生/一時停止]ボタンを押すと、フォルダの中のファイルが連続再生されます。



テレビの画面



以上でお気に入りフォルダーへのアクセスは完了です。

最近再生したコンテンツの再生

最近再生した動画・音楽・写真データの履歴から簡単に再生することができます。

注意 DLNA対応サーバーのコンテンツのみ履歴から再生できます。USBハードディスク・USBフラッシュメモリー・ネットワーク共有フォルダーのコンテンツは履歴から再生できません。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの[TOP]ボタンを押します。
- 3 [LinkTheater]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

※ 「LinkTheaterに切り替えますか？」と表示されたら、[はい]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押してください(切り替わるまで25秒程度かかります)。



テレビの画面

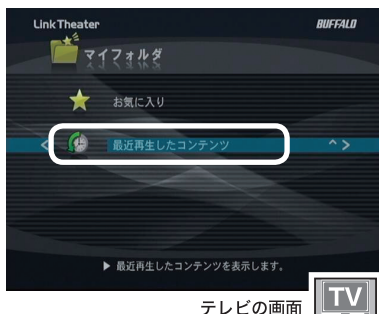


次のページへ続く

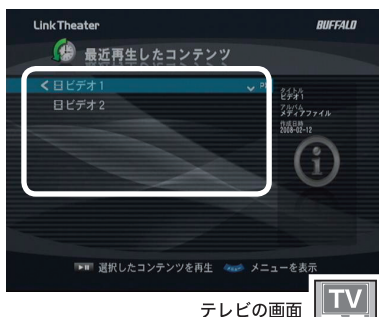
- 4 [マイフォルダ]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



- 5 [最近再生したコンテンツ]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



- 6 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

以上で最近再生したコンテンツの再生は完了です。

Mac OS X の共有フォルダーにアクセスするには

Mac OS X に共有フォルダーを設定すると、本製品から共有フォルダーの動画・音楽・写真データを再生することができます。

Mac OS 側の設定

< Mac OS X 10.5 の例 >

- 1 アップルメニューから [システム環境設定...] をクリックします。



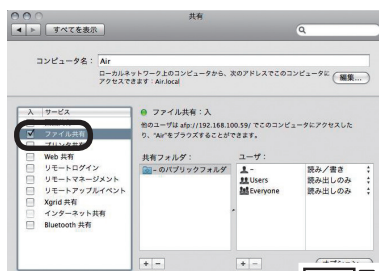
パソコンの画面 


- 2 [共有] をクリックします。



パソコンの画面 

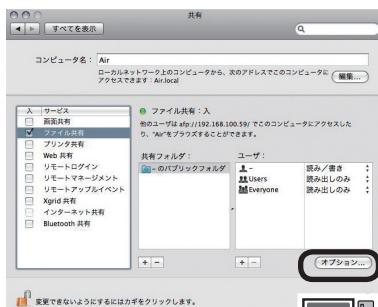
- 3 [ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。



パソコンの画面 

次のページへ続く 

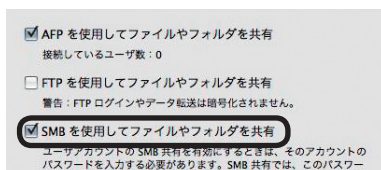
4 [オプション...]をクリックします。



パソコンの画面



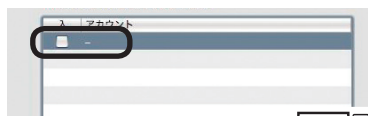
5 [SMBを使用してファイルやフォルダを共有]をクリックします。



パソコンの画面



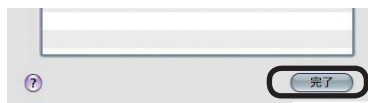
6 共有するアカウントを選択します (パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します)。



パソコンの画面



7 [完了]をクリックします。



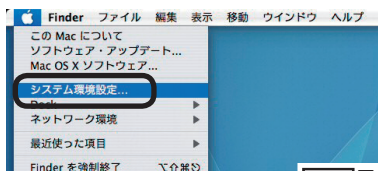
パソコンの画面



以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

< Mac OS X 10.4 の例 >

1 アップルメニューから [システム環境設定...]をクリックします。



パソコンの画面

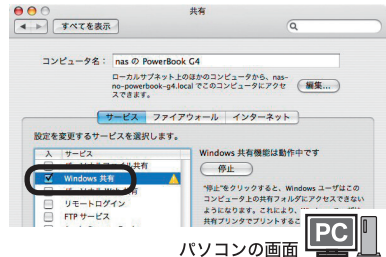


次のページへ続く

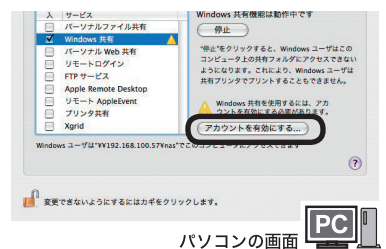
2 [共有]をクリックします。



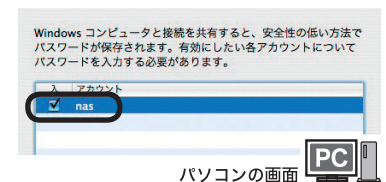
3 [Windows 共有]をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。



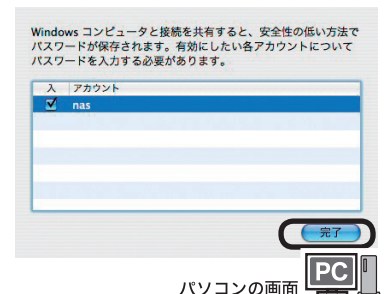
4 [アカウントを有効にする...]をクリックします。



5 共有するアカウントを選択します (パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します)。



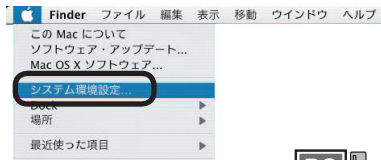
6 [完了]をクリックします。



以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

< Mac OS X 10.3 の例 >

- 1 アップルメニューから [システム環境設定...] をクリックします。



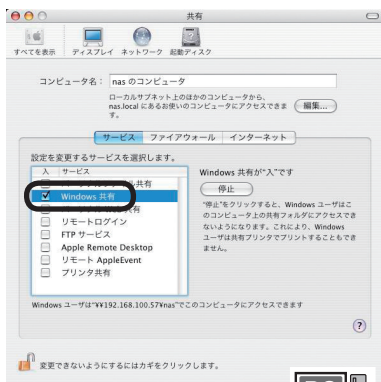
パソコンの画面 

- 2 [共有] をクリックします。



パソコンの画面 

- 3 [Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。



パソコンの画面 

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

< Mac OS X 10.2 の例 >

- 1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。
- 2 [システム] 欄にある [アカウント] をクリックします。
- 3 ログインに使用するアカウントをリストから選択して、[ユーザを編集 ...] をクリックします。
- 4 パスワードを入力し、[ユーザが Windows からログインするのを許可する] を選択して、[保存] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [すべてを表示] をクリックします。
- 7 [インターネットとネットワーク] 欄の [共有] をクリックします。
- 8 [Windows ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

※ Mac OS X 10.2 より前の Mac OS のホームフォルダーにアクセスすることはできません。

本製品側の設定

はじめに

接続・準備

デジタル放送

ファイル再生

付録

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。
- 3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※ 「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 25 秒程度かかります)。



テレビの画面 

- 4 [ネットワーク共有フォルダ] を選択し、リモコンの方向キー▶ ボタンを押します。



テレビの画面 

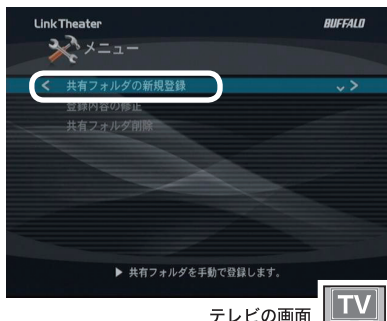
- 5 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。



テレビの画面 

次のページへ続く

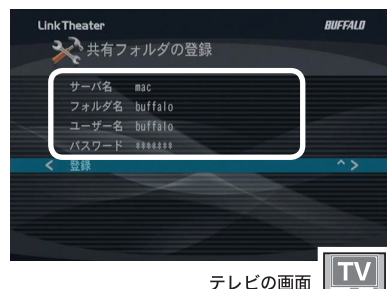
- 6 [共有フォルダの新規登録]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面




- 7 サーバー名（またはサーバーのIPアドレス）、共有フォルダ名（MACの場合は選択したアカウント名と同じです）、ユーザー名、パスワードを入力します。

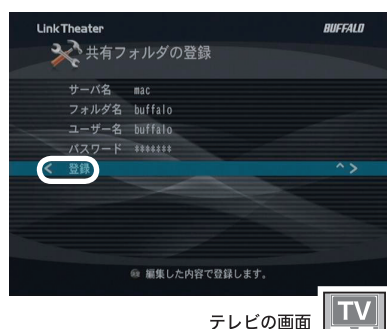


テレビの画面



 日本語などの2バイト文字を入力することはできません。

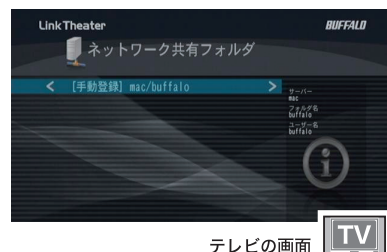
- 8 [登録]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面



- 9 登録した共有フォルダを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

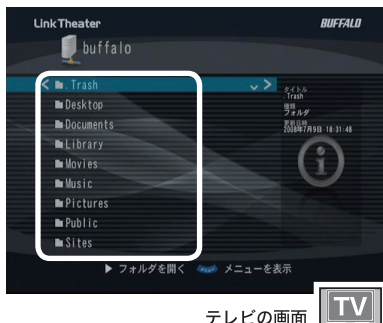


テレビの画面



次のページへ続く▶

10 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー➡ボタンを押します。



選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

以上で Mac OS X の共有フォルダーにあるファイルの再生は完了です。

DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する

DLNA(Digital Living Network Alliance) について

DLNA (デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス) は、デジタル機器 (パソコン・家電・モバイル機器など) の相互接続環境を実現するために業界標準技術の製品設計ガイドライン「ホーム・ネットワーク・デバイス・インターオペラビリティ・ガイドライン」を定めています。

本製品は、DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生することができます。弊社製 DLNA 対応 LinkStation/TeraStation については、弊社ホームページ (buffalo.jp) にてご確認ください。LinkTheater のサーバー選択画面で、DLNA 対応メディアサーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P45 「データをテレビで再生する」と同様です。DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生するには、メディアサーバーの設定画面でメディアサーバー機能を有効にしてください。設定方法については、メディアサーバーのマニュアルをご参照ください。

Windows Media Connect サーバーのデータを再生する

Windows Media Connect について

Windows XP で Microsoft Windows Media Connect をインストールすると、パソコンに保存している音楽、写真、ビデオを、UPnP プロトコルを使用して本製品で再生できるようになります。

Windows Media Connect は、Windows Update[カスタムインストール][ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択] よりインストールすることができます。

本製品は、Windows Media Connect がインストールされた Windows XP パソコンのデータを再生することができます。

LinkTheater のサーバー選択画面で、Windows Media Connect サーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P45「データをテレビで再生する」と同様です。

Windows Media DRM で著作権管理されたコンテンツを再生する

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) について

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) は、コンピューター、デジタルオーディオ プレーヤー、またはネットワークデバイスで再生する場合、コンテンツを保護し、安全に配信するプラットフォームです。

Windows Media DRM は、Windows Media Connect サーバと付属の BUFFALO メディアサーバーに対応しています。

LinkTheater のサーバー選択画面で、Windows Media DRM に対応しているサーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P45「データをテレビで再生する」と同様です。

※ Windows Media Player は最新のバージョンをお使いください。

※サーバーとなるパソコンであらかじめ再生し、ライセンスを取得しておく必要があります。

※ Windows 2000 には対応していません。

※ DRM の保護レベルによっては、再生できないことがあります。

※ビデオ出力は D1 : 480i となります。

▲注意 D 端子をコンポーネントに変換して出力している場合、解像度が D1 : 480i に変更された際に画面が表示されなくなる場合があります。このようなときは、テレビの表示解像度を D1 : 480i に変更してください。設定方法については、テレビのマニュアルをご参照ください。

ファイル再生のメニュー

ファイル再生に関する設定をするときは、ファイル再生のメニューから設定を行います。

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 リモコンの[**TOP**]ボタンを押します。
- 3 [**LinkTheater**]を選択し、リモコンの[**決定**]ボタンを押します。

※「LinkTheaterに切り替えますか？」と表示されたら、[はい]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押してください(切り替わるまで25秒程度かかります)。



テレビの画面



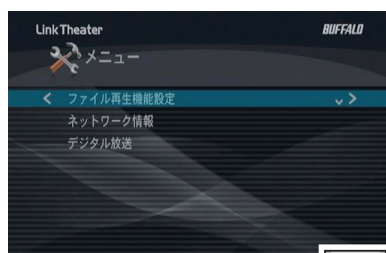
- 4 右の画面が表示されたら、リモコンの[**メニュー**]ボタンを押すと、設定項目を表示します。



テレビの画面



- 5 各項目の設定を行うことができます。



テレビの画面



次のページへ続く

メモ ファイル再生のメニューからできること

ファイル再生のメニュー画面から以下の項目を設定することができます。

• ファイル再生機能設定

[機器情報]では、メディアプレーヤーの名称やバージョンを知ることができます。

[写真表示間隔]では、写真ファイルをテレビ画面に表示する時間(3秒～2分)を設定できます。

[キー操作音]では、リモコンキーの操作音(大、中、小、切)を設定できます。

[連続再生(共有フォルダ)]では、ネットワーク共有フォルダーでのビデオと音楽の自動連続再生の有無を設定できます。

[連続再生(USB)]では、USB Driveでのビデオと音楽の自動連続再生の有無を設定できます。

• ネットワーク情報

本製品が接続されているネットワークの状態を表示します。


• デジタル放送

デジタル放送の視聴に画面を切り替えます(切り替わるまで1分程度かかります)。

ルーターの無い環境での手動設定手順、ファームウェアのアップデート方法、Link-Stationのデータを再生する方法、用語集、困ったときは、仕様について説明しています。

ルーターをお持ちでない方へ (IP アドレスを手動で設定する手順)

ここでは、パソコンの IP アドレスを確認し、本製品の IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。付属ソフトウェアをインストールしたパソコンを認識しないときや、インターネットをお使いの環境でルーターを使用していない（DHCP サーバー機能がない）場合のみ行ってください。

 **マウ** 画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。

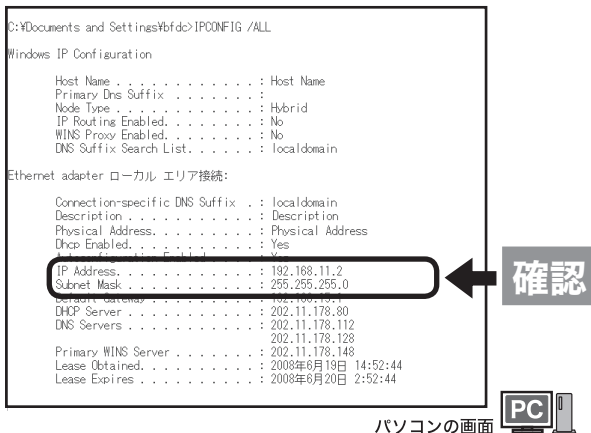
パソコンの IP アドレスを確認する

- 1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

[スタート] - [(すべての) プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
を選択します。

- 2 画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

3 「IP Address(IPv4 アドレス)」欄と「Subnet Mask(サブネットマスク)」欄に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。



パソコンの画面

以上でパソコンの IP アドレス確認は完了です。

続いて P75 の手順で本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。

本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、以下の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

本製品に設定する IP アドレスの値は？

本製品の IP アドレスには、以下のような値を設定します。

パソコンの IP アドレス	本製品の IP アドレス
<u>192.168.11.2</u> の場合	<u>192.168.11.12</u> に設定します。

同じ値にする

1 ~ 254 の数字でパソコンと違う値にする

本製品に設定するサブネットマスクの値は？

本製品のサブネットマスクは、パソコンのサブネットマスクと同じ値を設定します。

パソコンのサブネットマスク	本製品のサブネットマスク
<u>255.255.255.0</u> の場合	<u>255.255.255.0</u> に設定します。

同じ値にする

本製品の IP アドレスを設定する

- 1 設定画面から [ネットワーク設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。



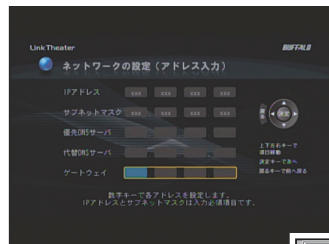
テレビの画面 

- 2 [手動設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。



テレビの画面 

- 3 IP アドレス、サブネットマスク、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバー、ゲートウェイを入力し、[決定] ボタンを押します。



テレビの画面 

⚠️ 注意 IP アドレスがパソコンの値と重複しないようにしてください。設定する値が分からないときは、P74 の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

例：パソコンの IP アドレスが「192.168.11.2」サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、本製品の IP アドレスは「192.168.11.12」サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定します。

📌 メモ IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバー、ゲートウェイは、リモコンの数字キーで入力します。「.(ピリオド)」は、[1] ボタンを 2 回連続して押すことで入力できます。

はじめに

接続・準備

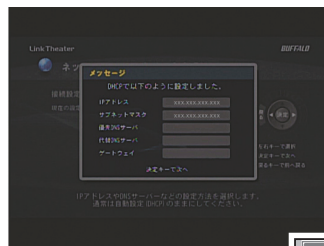
デジタル放送

ファイル再生

付録

次のページへ続く

4 設定したIPアドレスを確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。



テレビの画面



5 プロキシサーバーの使用する / しないを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

- メモ** [使用する]を選択した場合画面の指示にしたがって、HTTP(HTTPS)プロキシサーバーのIPアドレスとポート番号を入力してください。
リモコンの数字キーで数字を入力し、方向キーで項目を移動します。[決定]ボタンで次の画面へ進みます。



テレビの画面

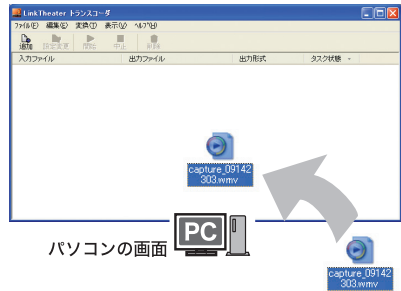


以上でIPアドレスの設定は完了です。

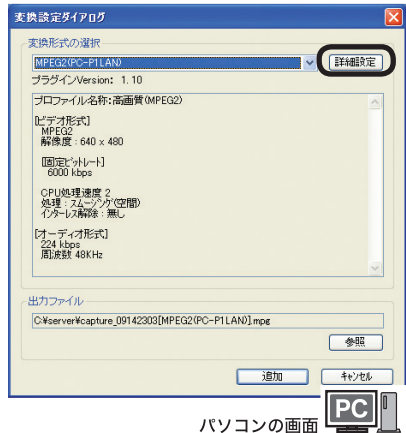
トランスコーダーについて

本製品でお手持ちの動画ファイルが再生できなかったり、映像が滑らかに再生できないときは、あらかじめ付属のトランスコーダーで MPEG2 ファイルにデータを交換します。

- 1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[LT-H90]-[トランスコーダ]-[トランスコーダ]をクリックします。
- 2 変換したいファイルをドラッグ&ドロップします。



- 3 [詳細設定]をクリックします。



はじめに

接続・準備

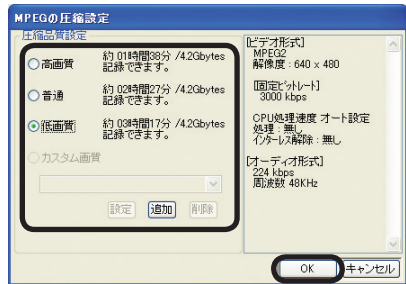
デジタル放送

ファイル再生

付録

次のページへ続く

4 圧縮品質を選択(「高画質」を選択しても8Mbps以下となります)し、[OK]をクリックします。



パソコンの画面



お好みの画質を個々に詳細の設定をしたいときは、[追加]をクリックし、詳細項目を設定してください。設定した項目は、[カスタム画質]として選択できるようになります。

設定できる項目は次の通りです。

・調整モード

調整モードを固定ビットレート (CBR)、可変ビットレート (CVBR)、固定品質 (CQ) から選択します。各モードの特徴は、「用語集」(P88)を参照してください。また、ここで選択したモードによって「レート設定」で設定できる項目が異なります。

・ビットレート

設定する値が大きいくほど映像がきれいになりますが、録画したファイルの容量も大きくなります。設定可能範囲は 192 ~ 8000(kbps) です。調整モードで「可変ビットレート」を選択している場合は、ここで設定したビットレートを中心に最大ビットレートから最小ビットレートの範囲で録画します。設定する値は、下で設定する「最大ビットレート」と「最小ビットレート」の範囲に収まるように設定してください。

・最大ビットレート

録画するときの最大ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は、上項目の「ビットレート」の値 ~ 8000(kbps) です。

・最小ビットレート

録画するときの最小ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は 192(kbps) ~ 上項目の「ビットレート」の値です。

・高圧縮高画質

調整モードで「固定品質」を選択した場合のみ設定できます。スライダーをドラッグして画質を設定します。ゲージを高圧縮に近づけるとファイルサイズは小さくなりますが画質が悪くなります。ゲージを高画質に近づけると、ファイルサイズは大きくなりますが高画質となります。

・インターレス解除

ポップに設定すると、ノイズは残りますがメディアンに比べシャープな画像になります。メディアンは、画像をぼかしノイズを除去します。

・CPU 処理速度


値が高いほど画質が向上しますが、CPU (パソコン) にかかる負荷が大きくなります。通常は、0 ~ 2 の値を使用してください。

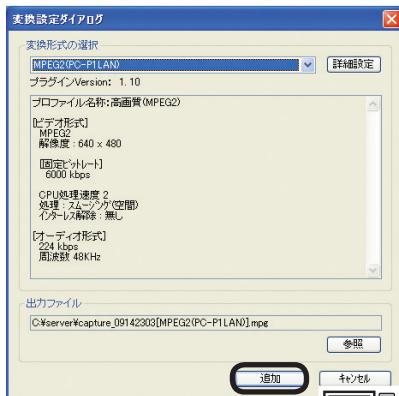
・オーディオビットレート

ビットレートは高ければ高いほど音質は良くなりますが容量も大きくなります。

次のページへ続く

5 [追加]をクリックします。


 **メモ** [出力ファイル]-[参照]をクリックすれば、変換後のファイルの保存先、ファイル名を指定することができます。初期設定では、変換元ファイルと同じ場所、ファイル名末尾に [MPEG2(PC-P1LAN)]_000 を追加して保存します (000 は同一名ファイルを複数回変換したときカウントアップされた番号となります)。

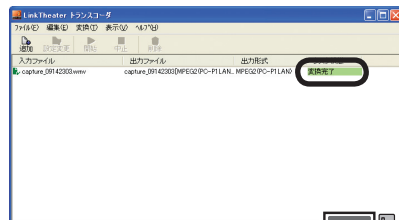


パソコンの画面



6 [タスク状態]が、[変換待ち] → [変換中] → [変換完了] と表示されます。

 **メモ** 変換を中止するには、[中止]をクリックしてください。中止したファイルを変換するには [開始] をクリックしてください。



パソコンの画面



以上でデータの変換は完了です。

ファームウェアのアップデート方法

本製品のファームウェア (内部ソフトウェア) をアップデートする手順を説明します。

- 注意**
- ・ファームウェアのアップデートをするには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。本製品と接続したルーターやエアステーションがインターネットに接続されていることを確認してください。
 - ・アップデート中は、本製品の電源を切らないでください。また、ボタン操作も行わないでください。アップデートは通常5～10分で完了しますが、お使いのネットワーク環境 (ネットワーク回線が込み合っている場合など) によっては40分程度かかることがあります。

次のページへ続く

- 1 設定画面から [システム設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。



テレビの画面



- 2 [アップデートする] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。



テレビの画面



- 3 [はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※アップデート完了後、自動的に本製品が再起動します。



テレビの画面



以上でファームウェアのアップデートは完了です。

困ったときは

電源が入らない

原因①：

電源ケーブルがコンセントまたは本製品から外れている

対策①：

電源ケーブルをコンセントおよび本製品に接続してください。

映像や音声が出ない

原因①：

テレビの接続が間違っている

対策①：

正しく接続してください。【P20、21】

原因②：

入力を正しく選択していない

対策②：

テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③：

本製品やテレビのミュート（消音）が有効になっている

対策③：

リモコンの [消音] ボタンを押して消音機能を無効にしてください。テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。

原因④：

DirectX が破損している、または削除されている

対策④：

付属の CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから [DirectX のインストール] を選択してください。以降が画面のメッセージにしたがって DirectX を再インストールしてください。

原因⑤：

本製品の表示解像度、縦横比率と接続しているテレビが合っていない

対策⑤：

P36 に記載の「テレビ画面設定」設定と異なるテレビを接続しても映像は表示されません。表示解像度、縦横比率に合ったタイプのテレビに接続してください。

リモコンで操作できない

原因①：

電池が入っていない

対策①：

電池をリモコンにセットしてください

原因②：

電池が消耗している

対策②：

新しい電池と交換してください

原因③：

電池の入れ方が間違っている

対策③：

電池の極性 (+、-) を確認して、正しく入れてください

原因④：

リモコンをテレビに向けている

対策④：

リモコンは本製品に向けて操作してください。

原因⑤：

リモコンと本製品の間に障害物がある

対策⑤：

障害物をなくすか、避けてお使いください。

原因⑥：

リモコンと本製品の間隔が遠い

対策⑥：

リモコンを本製品に近づけて操作してください。

登録フォルダーに入れたファイルを認識できない

原因①：

ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用している

対策①：

ファイル名に 2 バイトコード文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、ファイル名を変更してください。

本製品でパソコンが認識できない

原因①：

LAN ケーブルが接続されていない

対策①：

本製品およびパソコンに LAN ケーブルが接続されているか確認してください (カチッと音がするまで差し込んでください)。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因②：

ケーブルが間違っている (パソコンと直接接続する場合)

対策②：

パソコンと本製品を直接接続する場合は、クロスケーブルが必要です。別途クロスケーブルを用意し、接続してください。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因③：

本製品付属ソフトをインストールしていない

対策③：

付属 CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから付属ソフトをインストールしてください。

原因④：

PPPoe 接続ツール (フレッツ接続ツールなど) がインストールされている

対策④：

PPPoe 接続ツールをアンインストールしてください。

原因⑤：

ルーターやアクセスポイントが故障している

対策⑤：

どうしてもルーターやアクセスポイントに接続した環境で認識できないときは、「はじめにお読みください」を参照して、パソコンと直接本製品を接続してお使いください。

原因⑥：

IP アドレスが間違っている

対策⑥：

「ルーターをお持ちでない方へ」(P73) を参照して、本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレス「**.*.*.*.*;」(「*」や「;」は数字)の**部分が同じであることを確認してください。

原因⑦：

ファイアウォール機能を持つソフトがインストールされている

対策⑦：

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、TCPポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。以下では、ファイアウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

【トレンドマイクロ社ウイルスバスター 2008 ファイアウォール無効化手順】

以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1. [スタート]-[(すべての)プログラム]-[ウイルスバスター 2008]-[ウイルスバスター 2008 を起動] を選択します。
2. メイン画面左側の [不正侵入対策 / ネットワーク管理] をクリックし、[パーソナルファイアウォール] 欄にある [有効] をクリックします。
3. ファイアウォール機能が無効に切り替わったのを確認し、画面右上の [×] をクリックし、メイン画面を終了します。

以上で設定は完了です。

【Norton Internet Security 2008 ファイアウォール無効化手順】

以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。

1. [スタート]-[(すべての)プログラム]-[Norton Internet Security]-[Norton Internet Security] を選択します。
2. [設定] をクリックします。
3. [Web 設定] → [ファイアウォール] の順にクリックします。
4. [オフにする] をクリックします。
※有効にするときは [オンにする] をクリックします。
5. ファイアウォール機能をオフにする期間を選択し、[OK] をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows Vista ファイアウォール無効化手順】

※本ページのはじめに記載されている TCP ポートを使用許可することを推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1. [スタート] - [コントロールパネル] をクリックし開きます。
2. [セキュリティ] をクリックします。
※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、[セキュリティ] 項目はありません。手順3へ進みます。
3. [Windows ファイアウォール] の [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックします。
4. [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
5. [Windows ファイアウォールの設定] 画面の [全般] タブの [無効 (推奨されません)] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows XP SP2(サービスパック 2) ファイアウォール無効化手順】

※前ページのはじめに記載されている TCP ポートを使用許可することを推奨します。
以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。

本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1. [スタート] - [コントロールパネル] をクリックし開きます。
 2. [セキュリティセンター] をクリックします。
※ コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、[セキュリティセンター] 項目はありません。手順 3 へ進みます。
 3. [Windows ファイアウォール] をクリックします。
 4. 「無効 (推奨されません)」にチェックを入れ、[OK] をクリックします。
- 以上で操作は完了です。

映像、音楽、写真を再生できない

原因①

再生しているファイルの種類、画質、エンコード条件が本製品にあっていない

対策①

ファイルの種類や画質、エンコード条件によって本製品で再生できない場合があります。本製品で再生できる形式のファイルを再生してください (P95)。

原因②：

ファイルが壊れている

対策②：

ファイルが壊れている場合は再生できません。

原因③

映像と音声が入ターリーブされていない

対策③

入ターリーブされていない AVI ファイルは再生できません。AVI ファイル作成時は、入ターリーブする設定で作成してください。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

原因④

著作権保護されたファイルを再生している

対策④

本製品は著作権保護されたファイルを再生できません。著作権保護されていないファイルを再生してください。

映像が正しく表示されない

原因①：

NTSC 方式以外のテレビ方式で記録された映像を再生している

対策①：

NTSC 方式以外の方式で記録された映像は正常に表示されないことがあります。

原因②：

ビデオ機器を経由させテレビに接続している

対策②：

本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因③：

ビデオ機能を搭載したテレビに接続している

対策③：

本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

再生するとコマ落ち、音飛びする

原因①：

本製品を接続したネットワークで他の機器が通信している

対策①：

本製品の再生中に他の機器で通信を行っている時、ネットワークが混雑しコマ落ちや音飛びすることがあります。コマ落ちや音飛びする場合は、他の機器の通信を終了してから再生してください。

原因②：

再生したファイルの種類や画質、エンコード条件が本製品とあっていない

対策②：

ファイルの種類や画質、エンコード条件によってコマ落ちや音飛びすることがあります。本製品の条件にあったファイルを再生してください (P95)。

原因③：

ビットレートが P95 に記載された値を超えている

対策③：

P77 に記載のトランスコーダー、または別途エンコードソフトウェアを用意し、ビットレートを小さくしてください。

リピートボタンを押しても動作しない

原因①：

サーバーの仕様によっては、リピートできないフォルダーがあることがあります。

対策①：

再生したいファイルを別のフォルダーに移動してお試しください。

テレビで見たとき端（外周部）の映像がカットされている、映像がずれて見える

一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。テレビによってカットする量に差があり、お使いのテレビによっては、映像の端（外周部）がカットされて見えたり、映像が左右または上下にずれて見えることがあります。

MediaServer2 がブロックされて本製品でパソコンを認識できない (Windows Vista/XP)

付属ソフトウェアのインストール後、パソコンを再起動したとき、「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。

このようなときは、[ブロックの解除] をクリックしてください。

[後で確認する] をクリックしてしまった場合

MediaServer2 を再起動してください。再び「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されます。[ブロックの解除] をクリックしてください。

[ブロックする] をクリックしてしまった場合

次の手順でファイアウォールの設定を変更してください。

Windows Vista

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [セキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
3. [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
4. [Windows ファイアウォールの設定] 画面の [例外] タブの中の [プログラムまたはポート] の中の [mediaserver.exe] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

Windows XP

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続]-[Windows ファイアウォールの設定を変更する] をクリックします (または [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします)。
3. [例外] タブをクリックします。
4. [mediaserver.exe] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。[OK] をクリックします。

用語集

• 110度CSデジタル放送

東経110度に位置する通信衛星(CS)を用いた衛星放送です。視聴にはデジタル放送用チューナーとパラボラアンテナが必要です。従来のアナログ地上波放送と比べ、高画質・高音質、多チャンネル、データ放送対応などの特長があります。

• AVI

Microsoft社がWindows用に開発したデジタルファイルフォーマットです。AVI形式(コーデックを使用しない)で録画した場合、映像の圧縮を行わないため録画したファイルの容量が大きくなります(320×240の解像度で録画した場合、30分で約5GB必要です)。編集ソフトなどで簡単に加工できる特長を持ちますが、長時間録画を行うと映像と音声はずれることがあります。

• B-CASカード(ビーキャストカード:BS-Conditional Access Systems Card)

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送などは、不正コピーを防ぐためにデータを暗号化しています。これを解除するためのデータが記録されたカードがB-CASカードです。デジタル放送事業者が共同出資して設立した株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(B-CAS)が発行しています。

• BSデジタル放送

放送衛星(BS)を使った、デジタル信号による放送です。視聴にはデジタル放送用チューナーとパラボラアンテナが必要です。

従来のアナログ地上波放送と比べ、高画質・高音質、多チャンネル、データ放送対応などの特長があります。

• CBR: Constant Bit Rate(固定ビットレート)

録画のとき常に同じビットレート(データ量)で録画します。そのため、動きの多いシーンなどでは動きの少ないシーンに比べ画質が落ちることがあります。また、動きが激しい場面では、ビットレートが足りない場合にブロックノイズが発生することがあります。

• CQ: Constant Quality(固定品質)

映像品質を一定に保った状態で、ビットレートを自動的に変動させ録画します。

映像によってビットレートが変動するため、録画する映像によって録画したファイルの容量が大幅に変わります(動きが多い映像ほど容量が大きくなります)。

• CVBR: Constrain Variable Bit Rate(可変ビットレート)

あらかじめ設定した範囲のビットレート(データ量)で録画するモードです。動きが多いときはビットレートが高くなり、動きの少ないときはビットレートを低くして録画を行います。本製品では、(平均)ビットレート、最大ビットレートを指定でき、(平均)ビットレートの値を平均値として録画を行います。

• DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) サーバー

DHCPサーバーはネットワークに関連した情報(IPアドレス、デフォルト・ルーターのIPアドレス、ドメイン名など)を管理します。DHCPクライアントが起動すると、自動的にIPアドレスなどの情報が割り振られます。DHCPサーバーがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや本製品に、IPアドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

• DNS(Domain Name System)

コンピューター名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

• IP(Internet protocol) アドレス

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。各コンピューターの住所を示す 整理番号のようなものです。ネットワーク機器の IP アドレスが重複していると正常に認識されません。

• MPEG

Moving Picture Expert Group (通称 MPEG フォーマットフォーラム) が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEG フォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-Video や Video-CD にも使われているフォーマットです。MPEG フォーマットには、「MPEG-1」「MPEG-2」などいくつかの形式があります。

• MPEG-2

MPEG-1 フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Video の形式に用いられています。

• WMV

Windows Media 形式の映像ファイルです。

• アスペクト比

映像の縦と横の比率です。一般のテレビは 4:3、ワイドテレビは 16:9 になっています。また、通常、パソコンのディスプレイはアスペクト比 4:3 ですが、ディスプレイ、グラフィックボードにより 5:4 やワイド表示も可能です。

• ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

• コーデック (Codec)

コーデックとはデータの符号化と復号を行うもので、もともとは通信用語の COder/DE-Coder を縮めたものです。映像や音声を圧縮・伸張するプログラムで、パソコンで映像を再生・保存するのに必要なものです。コーデックには様々な種類があり、映像ファイルによって必要なコーデックが異なります。もし、ファイルに適したコーデックがパソコンにない場合には、映像が表示されなかったり、音声が出力されないことがあります。

• サブネットマスク

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルーターがパケットを送受信するために用います。

• 地上デジタル放送

地上デジタル放送とは電波塔から送られる地上波を利用したデジタル放送です。2003 年末に放送が開始され、2011 年には地上アナログ放送が終了し、地上デジタル放送へ移行する予定です。

• ビットレート

画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上されますが、録画ファイルの容量が大きくなります。

チャンネル一覧表

「かんたん初期設定」で地域を選ぶと、下の表のように設定されます。
ただし、他の地域の放送を受信した場合は、異なる設定になる場合があります。

お住まいの地域		リモコン番号と放送局名
北海道	旭川	HBC 旭川 (1)、NHK 教育・旭川 (2)、NHK 総合・旭川 (3)、STV 旭川 (5)、HTB 旭川 (6)、TVH 旭川 (7)、UHB 旭川 (8)
	釧路	HBC 釧路 (1)、NHK 教育・釧路 (2)、NHK 総合・釧路 (3)、STV 釧路 (5)、HTB 釧路 (6)、TVH 釧路 (7)、UHB 釧路 (8)
	北見	HBC 北見 (1)、NHK 教育・北見 (2)、NHK 総合・北見 (3)、STV 北見 (5)、HTB 北見 (6)、TVH 北見 (7)、UHB 北見 (8)
	帯広	HBC 帯広 (1)、NHK 教育・帯広 (2)、NHK 総合・帯広 (3)、STV 帯広 (5)、HTB 帯広 (6)、TVH 帯広 (7)、UHB 帯広 (8)
	札幌	HBC 札幌 (1)、NHK 教育・札幌 (2)、NHK 総合・札幌 (3)、STV 札幌 (5)、HTB 札幌 (6)、TVH 札幌 (7)、UHB 札幌 (8)
	函館	HBC 函館 (1)、NHK 教育・函館 (2)、NHK 総合・函館 (3)、STV 函館 (5)、HTB 函館 (6)、TVH 函館 (7)、UHB 函館 (8)
	室蘭	HBC 室蘭 (1)、NHK 教育・室蘭 (2)、NHK 総合・室蘭 (3)、STV 室蘭 (5)、HTB 室蘭 (6)、TVH 室蘭 (7)、UHB 室蘭 (8)
東北	青森	RAB 青森放送 (1)、NHK 教育・青森 (2)、NHK 総合・青森 (3)、青森朝日放送 (5)、ATV 青森テレビ (6)
	岩手	NHK 総合・盛岡 (1)、NHK 教育・盛岡 (2)、テレビ岩手 (4)、岩手朝日テレビ (5)、IBC テレビ (6)、めんこいテレビ (8)
	宮城	TBC テレビ (1)、NHK 教育・仙台 (2)、NHK 総合・仙台 (3)、ミヤギテレビ (4)、KHB 東日本放送 (5)、仙台放送 (8)
	秋田	NHK 総合・秋田 (1)、NHK 教育・秋田 (2)、ABS 秋田放送 (4)、AAB 秋田朝日放送 (5)、AKT 秋田テレビ (8)
	山形	NHK 総合・山形 (1)、NHK 教育・山形 (2)、YBC 山形放送 (4)、YTS 山形テレビ (5)、テレビユー山形 (6)、さくらんぼテレビ (8)
	福島	NHK 総合・福島 (1)、NHK 教育・福島 (2)、福島中央テレビ (4)、KFB 福島放送 (5)、テレビユー福島 (6)、福島テレビ (8)

次のページへ続く

お住まいの地域		リモコン番号と放送局名
関東	茨城	NHK 総合・水戸 (1)、NHK 教育・東京 (2)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS (6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	栃木	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、とちぎテレビ (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS (6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	群馬	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、群馬テレビ (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS (6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	埼玉	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、テレ玉 (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS (6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	千葉	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、ちばテレビ (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS (6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	東京	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS (6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、TOKYO MX (9)、放送大学 (12)
	神奈川	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、tvk (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS (6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
甲信越	新潟	NHK 総合・新潟 (1)、NHK 教育・新潟 (2)、TeNY テレビ新潟 (4)、新潟テレビ 21 (5)、BSN (6)、NST (8)
	山梨	NHK 総合・甲府 (1)、NHK 教育・甲府 (2)、YBS 山梨放送 (4)、UTY (6)
	長野	NHK 総合・長野 (1)、NHK 教育・長野 (2)、テレビ信州 (4)、ABN 長野朝日放送 (5)、SBC 信越放送 (6)、NBS 長野放送 (8)
中部	富山	KNB 北日本放送 (1)、NHK 教育・富山 (2)、NHK 総合・富山 (3)、チューリップテレビ (6)、BBT 富山テレビ (8)
	石川	NHK 総合・金沢 (1)、NHK 教育・金沢 (2)、テレビ金沢 (4)、北陸朝日放送 (5)、MRO (6)、石川テレビ (8)
	福井	NHK 総合・福井 (1)、NHK 教育・福井 (2)、FBC テレビ (7)、福井テレビ (8)
	静岡	NHK 総合・静岡 (1)、NHK 教育・静岡 (2)、静岡第一テレビ (4)、静岡朝日テレビ (5)、SBS (6)、テレビ静岡 (8)
	愛知	東海テレビ (1)、NHK 教育・名古屋 (2)、NHK 総合・名古屋 (3)、中京テレビ (4)、CBC (5)、メ〜テレ (6)、テレビ愛知 (10)
	三重	東海テレビ (1)、NHK 教育・名古屋 (2)、NHK 総合・津 (3)、中京テレビ (4)、CBC (5)、メ〜テレ (6)、三重テレビ (7)
	岐阜	東海テレビ (1)、NHK 教育・名古屋 (2)、NHK 総合・岐阜 (3)、中京テレビ (4)、CBC (5)、メ〜テレ (6)、岐阜テレビ (8)

お住まいの地域		リモコン番号と放送局名
近畿	滋賀	NHK 総合・大津 (1)、NHK 教育・大阪 (2)、BBC びわ湖放送 (3)、MBS 毎日放送 (4)、ABC テレビ (6) 関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
	京都	NHK 総合・京都 (1)、NHK 教育・大阪 (2)、MBS 毎日放送 (4)、KBS 京都 (5)、ABC テレビ (6)、関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
	大阪	NHK 総合・大阪 (1)、NHK 教育・大阪 (2)、MBS 毎日放送 (4)、ABC テレビ (6)、テレビ大阪 (7)、関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
	兵庫	NHK 総合・兵庫 (1)、NHK 教育・大阪 (2)、サンテレビ (3)、MBS 毎日放送 (4)、ABC テレビ (6)、関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
	奈良	NHK 総合・奈良 (1)、NHK 教育・大阪 (2)、MBS 毎日放送 (4)、ABC テレビ (6)、関西テレビ (8)、奈良テレビ (9)、よみうりテレビ (10)、
	和歌山	NHK 総合・和歌山 (1)、NHK 教育・大阪 (2)、MBS 毎日放送 (4)、テレビ和歌山 (5)、ABC テレビ (6) 関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
中国	鳥取	日本海テレビ (1)、NHK 教育・鳥取 (2)、NHK 総合・鳥取 (3)、BSS テレビ (6)、山陰中央テレビ (8)
	島根	日本海テレビ (1)、NHK 教育・松江 (2)、NHK 総合・松江 (3)、BSS テレビ (6)、山陰中央テレビ (8)
	岡山	NHK 総合・岡山 (1)、NHK 教育・岡山 (2)、RNC 西日本テレビ (4)、KSB 瀬戸内海放送 (5)、RSK テレビ (6)、テレビせとうち (7)、OHK テレビ (8)
	広島	NHK 総合・広島 (1)、NHK 教育・広島 (2)、RCC テレビ (3)、広島テレビ (4)、広島ホームテレビ (5)、TSS (8)
	山口	NHK 総合・山口 (1)、NHK 教育・山口 (2)、TYS テレビ山口 (3)、KRY 山口放送 (4)、YAB 山口朝日 (5)
四国	徳島	四国放送 (1)、NHK 教育・徳島 (2)、NHK 総合・徳島 (3)
	香川	NHK 総合・高松 (1)、NHK 教育・高松 (2)、RNC 西日本テレビ (4)、KSB 瀬戸内海放送 (5)、RSK テレビ (6)、テレビせとうち (7)、OHK テレビ (8)
	愛媛	NHK 総合・松山 (1)、NHK 教育・松山 (2)、南海放送 (4)、愛媛朝日 (5)、あいテレビ (6)、テレビ愛媛 (8)
	高知	NHK 総合・高知 (1)、NHK 教育・高知 (2)、高知放送 (4)、テレビ高知 (6)、さんさんテレビ (8)

お住まいの地域	リモコン番号と放送局名	
九州 / 沖縄	福岡	KBC 九州朝日放送 (1)、NHK 教育・福岡 (2)、NHK 教育・北九州 (2)、NHK 総合・福岡 (3)、NHK 総合・北九州 (3)、RKB 毎日放送 (4)、FBS 福岡放送 (5)、TVQ 九州放送 (7)、TNC テレビ西日本 (8)
	佐賀	NHK 総合・佐賀 (1)、NHK 教育・佐賀 (2)、STS サガテレビ (3)
	長崎	NHK 総合・長崎 (1)、NHK 教育・長崎 (2)、NBC 長崎放送 (3)、NIB 長崎国際テレビ (4)、NCC 長崎文化放送 (5)、KTN テレビ長崎 (8)
	熊本	NHK 総合・熊本 (1)、NHK 教育・熊本 (2)、RKK 熊本放送 (3)、KKT くまもと県民 (4)、KAB 熊本朝日放送 (5)、TKU テレビ熊本 (8)
	大分	NHK 総合・大分 (1)、NHK 教育・大分 (2)、OBS 大分放送 (3)、TOS テレビ大分 (4)、OAB 大分朝日放送 (5)
	宮崎	NHK 総合・宮崎 (1)、NHK 教育・宮崎 (2)、UMK テレビ宮崎 (3)、MRT 宮崎放送 (6)
	鹿児島	MBC 南日本放送 (1)、NHK 教育・鹿児島 (2)、NHK 総合・鹿児島 (3)、KYT 鹿児島読売テレビ (4)、KKB 鹿児島放送 (5)、KTS 鹿児島テレビ (8)
	沖縄	NHK 総合・那覇 (1)、NHK 教育・那覇 (2)、RBC テレビ (3)、QAB 琉球朝日放送 (5)、沖縄テレビ (OTV)(8)

はじめに

接続・準備

デジタル放送

ファイル再生

付録

仕様

目 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

チューナー	
受信方式	地上デジタル放送、BS 放送、110 度 CS 放送
アンテナ入力	F 型コネクター (入力インピーダンス 75 Ω) (コンバータ電源出力 DC15V 最大 4W)
LAN インターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠 (10BASE-T/100-BASE-TX)
転送速度	10/100Mbps (オートセンス)
コネクター形状	RJ-45 型 8 極コネクター
外部出力	
フォーマット	NTSC (日本国内仕様)
コンポジットビデオ	RCA ピンジャック (黄)
HDMI	HDMI コネクター
D4 ビデオ	MDR14 ピンコネクター
アナログオーディオ	R:RCA ピンジャック (赤) L : RCA ピンジャック (白)
デジタルオーディオ	光角型
外部入力	
USB 規格	Universal Serial Bus Revision2.0/1.1
USB コネクター	シリーズ A(前面× 1、背面× 1)
MediaServer2	
対応パソコン	DOS/V 機 (OADG 仕様)
対応 OS	Windows Vista (32bit)、Windows XP、 Windows 2000 SP4 以降
その他	
使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	18W (BS アンテナ給電時 23W)
動作環境	温度 : 0 ~ 40°C、湿度 : 10 ~ 50% (結露なきこと)
外形寸法	210(W)x55(H)x215(D)mm (突起物含まず)
重量	約 1.25kg

再生できるファイルの種類

本製品で再生できるファイルの種類は、次の通りです。

対応動画 フォーマット形式 (※ 1、2)	[MPEG-1] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 5.5Mbps [MPEG-2] ・最高解像度 1440x1080 ・対応最高ビットレート 25Mbps ・対応条件 main profile@H14 まで対応 [MPEG-4] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 5Mbps [H.264] ・最高解像度 1920x1080 ・対応最高ビットレート 17Mbps ・対応条件 H.264/AVC main and high profile Level4.1 まで対応 [WMV9] ・最高解像度 1920x1080 ・対応最高ビットレート 8Mbps ・対応条件: WMV HD まで対応 [Xvid] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 3Mbps
対応音声 フォーマット形式 (※ 1、2、3)	[AAC-LC/HE-AAC] ・サンプリングレート: 32/44.1/48 kHz ・対応条件: ISO/IEC 13818-7 [MPEG-1Layer 1,2,3(MP3)] ・サンプリングレート: 32/44.1/48kHz ・対応条件: ISO/IEC-11172-3 [Dolby Digital(AC-3)] ・サンプリングレート: 48kHz ・対応条件: ATSC-A52/a [WMA](※ 4) ・サンプリングレート: 32/44.1/48kHz
対応画像 フォーマット形式	jpeg(ベースライン jpeg 対応 /プログレッシブ jpeg 対応)、bmp、png、gif
認識できる ファイル拡張子	本体のみで対応 動画: mpg,mpeg,vob,mp4,wmv,asf,m2t,m2ts,mts,mov, 3gp,3g2,ISO,mkv 音楽: wav,mp3,wma,m4a 写真: jpg,jpeg,png,bmp,gif
接続可能な USB 機器	マストレージクラスに対応した以下の USB 機器 (※ 5) ハードディスク、フラッシュメモリー、カードリーダー、 デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ

- ※ 1 : ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。
 ※ 2 : 著作権保護されたコンテンツを再生する場合、対応最高ビットレートが低下することがあります。
 ※ 3 : 音声 が 5.1ch の場合、2ch にダウンサンプリングされます。
 ※ 4 : WMA Lossless のコンテンツ再生には対応しておりません。
 ※ 5 : FAT または FAT32、NTFS でフォーマットされた機器。マストレージ対応機器。
 ただし、お使いの USB 機器によっては正常に認識できないことがあります。

ドルビーについて

Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズの商標です。本製品は、ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

マクロビジョン社の著作権保護技術について

本商品には、米国の特許及びその他の知的財産権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。この著作権保護技術を使用する場合には、マクロビジョン社の許可が必要です。またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の限られた視聴用の使用に制限されています。本商品を分解したり改造することも禁止されています。

はじめに

接続・準備

デジタル放送

ファイル再生

付録

MEMO

LT-H90DTV ユーザーズマニュアル
2008年10月22日 第2版発行
発行 株式会社バッファロー

